

ユーザーズガイド 基本インストール編

目次

<p>Chapter 1 クライアント管理用プログラムのインストール方法 P.5</p>	<p>1.1 ESET Remote Administrator のインストール 6 1.1.1 インストール概要 6 1.1.2 利用可能なデータベース 7 1.2 ESET Remote Administrator Server のインストール 8 1.2.1 インストール手順 (標準) 8 1.2.2 インストール手順 (Microsoft SQL Server を利用する場合) 13 1.3 ESET Remote Administrator Server のアンインストール 18 1.3.1 アンインストール手順 18 1.4 ESET Remote Administrator Console のインストール 19 1.4.1 インストール手順 19 1.5 ESET Remote Administrator Console のアンインストール 22 1.5.1 アンインストール手順 22</p>
<p>Chapter 2 サーバー・クライアント用プログラムのインストール概要 P.23</p>	<p>2.1 サーバー・クライアント用プログラムのインストール方法の概要 24 2.1.1 インストール方法の概要 (Windows) 24 2.1.2 インストール方法の概要 (Mac OS X) 25 2.1.3 インストール方法の概要 (Linux) 26 2.1.4 インストール方法の概要 (Android) 26</p>
<p>Chapter 3 サーバー用プログラムのインストール方法 P.27</p>	<p>3.1 ESET File Security for Microsoft Windows Server のインストール 28 3.1.1 インストール手順 28 3.2 旧製品からの移行 32 3.2.1 旧製品からの移行手順 33 3.3 ESET File Security for Microsoft Windows Server のアンインストール 37 3.3.1 アンインストール手順 37 3.4 ESET File Security for Linux のインストール 41 3.4.1 インストール手順 41 3.5 ESET File Security for Linux のアンインストール 43 3.5.1 アンインストール手順 43</p>
<p>Chapter 4 クライアント用プログラムのインストール方法 P.45</p>	<p>4.1 ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスのインストール 46 4.1.1 インストール手順 46 4.2 ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスのアンインストール 51 4.2.1 アンインストール手順 51 4.3 ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X 用のインストール 54 4.3.1 インストール手順 54 4.4 ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X 用のアンインストール 59 4.4.1 アンインストール手順 59 4.5 ESET Endpoint Security for Android のインストール 61 4.5.1 インストール手順 61 4.6 ESET Endpoint Security for Android のアンインストール 63 4.6.1 アンインストール手順 63</p>

Chapter 5

ライセンスキーファイルの 入れ替え方法 P.65

5.1	ライセンスキーファイルの入れ替え	66
5.1.1	ライセンスキーファイルの入れ替えについて	66
5.1.2	ライセンスキーファイルの入れ替え手順 (ESET Remote Administrator)	66
5.1.3	ライセンスキーファイルの入れ替え手順 (ESET File Security for Microsoft Windows Server)	70
5.1.4	ライセンスキーファイルの入れ替え手順 (ESET Endpoint アンチウイルス) ...	72
5.1.5	ライセンスキーファイルの入れ替え手順 (ESET File Security for Linux)	74

■本書について

○本書は、ESETセキュリティ ソフトウェア シリーズ ライセンス製品の共通ガイドとしてまとめています。

■お断り

- 本書は、本書作成時のソフトウェアおよびハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能が異なっている場合があります。また本書の内容は、改訂などにより予告なく変更することがあります。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- 本書の著作権は、キャノンITソリューションズ株式会社に帰属します。ESETセキュリティ ソフトウェア シリーズの各プログラムの著作権は、ESET, spol. s r.o. に帰属します。
- ESET、ESET Smart Security、NOD32、ESET Remote Administrator、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security、ESET Mobile Security、ThreatSenseは、ESET, spol. s r.o. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Active Directory、SQL Server、Access、Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Apple Remote Desktop、App Store、Mac、Mac OS、Finderは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。

[Chapter 1]

クライアント管理用 プログラムの インストール方法

1.1 ESET Remote Administrator のインストール	6
1.2 ESET Remote Administrator Server のインストール.....	8
1.3 ESET Remote Administrator Server のアンインストール.....	18
1.4 ESET Remote Administrator Console のインストール	19
1.5 ESET Remote Administrator Console のアンインストール	22

1.1

ESET Remote Administrator のインストール

ここでは、ESET Remote Administrator (ERA) のインストールについて説明しています。

1.1.1 インストール概要

ERAは、以下のプログラムで構成されます。

- ESET Remote Administrator Server (ERAS) 管理サーバー用プログラム
- ESET Remote Administrator Console (ERAC) 管理サーバー操作プログラム
- ESET コンフィグレーションエディタ ESETセキュリティ製品の設定編集プログラム

「ERAS」はサーバー用コンピューターにインストールし、「ERAC」はリモート管理を行う管理者用コンピューターなどにインストールします。「ESET コンフィグレーションエディタ」は、ERACをインストールしたコンピューターに自動的にインストールされます。ERAのインストールの前に、以下のものをご準備ください。

インストーラー

ERAのインストールは、弊社ユーザーズサイトからダウンロードしたインストーラーを利用して行います。バージョンアップを行うときは、旧バージョンのERA (ERASおよびERAC) に上書きインストールを行います。

POINT

ERA V5.0は、ERA V3.0およびERA V4.0からのみバージョンアップ可能です。

ライセンスキーファイル(.licファイル)

ERASを新規インストールする場合は、「ライセンスキーファイル(.licファイル)」が必要になります。「ESETライセンス製品 ご利用の手引」を参考にライセンスキーファイル(.licファイル)をユーザーズサイトからダウンロードしてください。

ユーザー名とパスワード

ウイルス定義データベースなどをダウンロードする際に、「ユーザー名」と「パスワード」を利用します。ユーザー名とパスワードは、ユーザーズサイトから確認することができます。

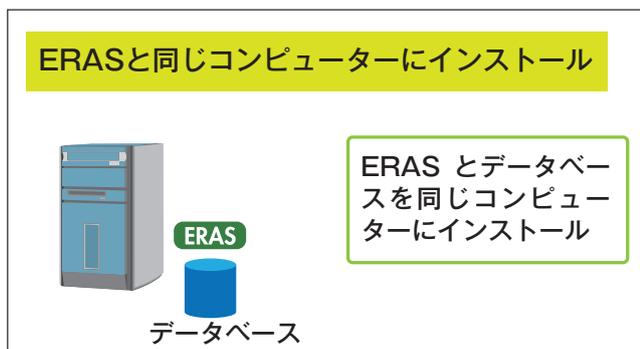
POINT

インストーラー、ライセンスキーファイル、ユーザー名、パスワードは、ユーザーズサイトから入手することができます。入手方法につきましては、「ESETライセンス製品 ご利用の手引」をご参照ください。

1.1.2 利用可能なデータベース

ESET Remote Administrator (ERA) で利用できるデータベースには、以下の2種類があります。データベースの配置先 (インストール先) は、ERASがインストールされたコンピューターおよびERASと異なるコンピューターの両方に対応しています。

- Microsoft Access (既定)
- Microsoft SQL Server 2005以降のバージョン



POINT

ERAの動作環境と利用可能なデータベースについては、弊社製品ホームページをご参照ください。

製品ホームページ

<http://canon-its.jp/product/license>

1.2

ESET Remote Administrator Serverのインストール

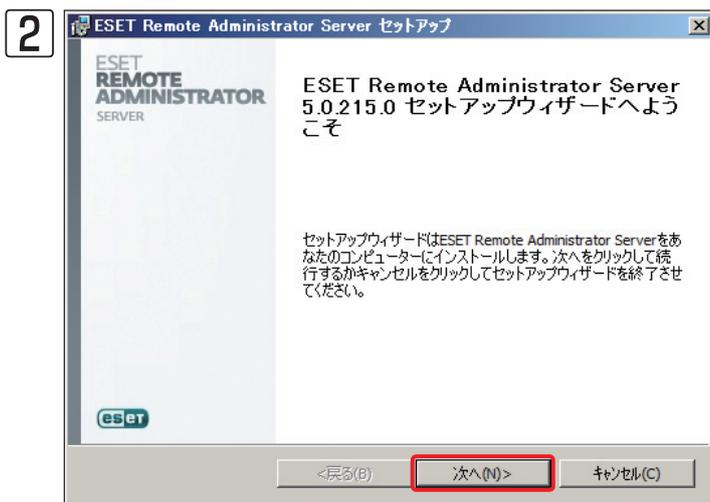
ここでは、管理サーバー用プログラム、ESET Remote Administrator Server (ERAS) のインストール手順を説明します。ERASのインストールは、弊社ユーザーズサイトからダウンロードしたインストーラーを利用して行います。

1.2.1 インストール手順（標準）

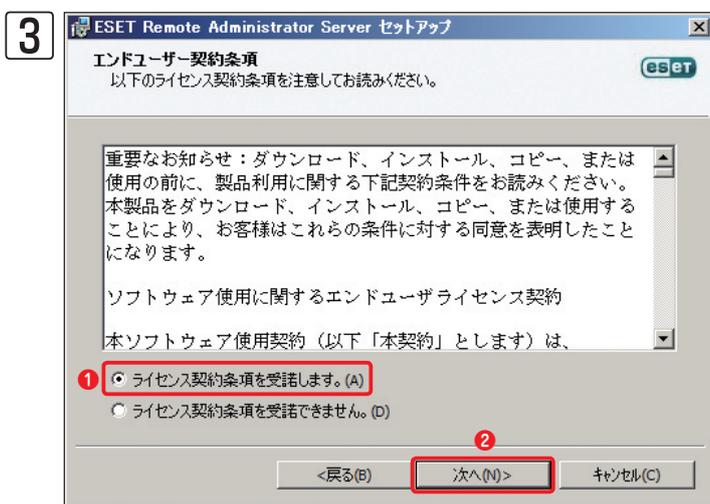
- 1 ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックします。

POINT

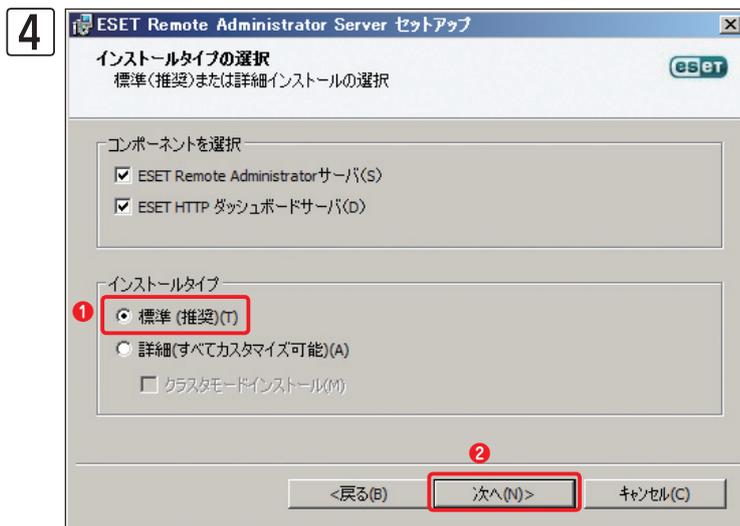
すでにご利用中のERASのバージョンアップを行う場合は、本節の手順に従って、上書きインストールを行います。



セットアップウィザードが起動します。[次へ] ボタンをクリックします。



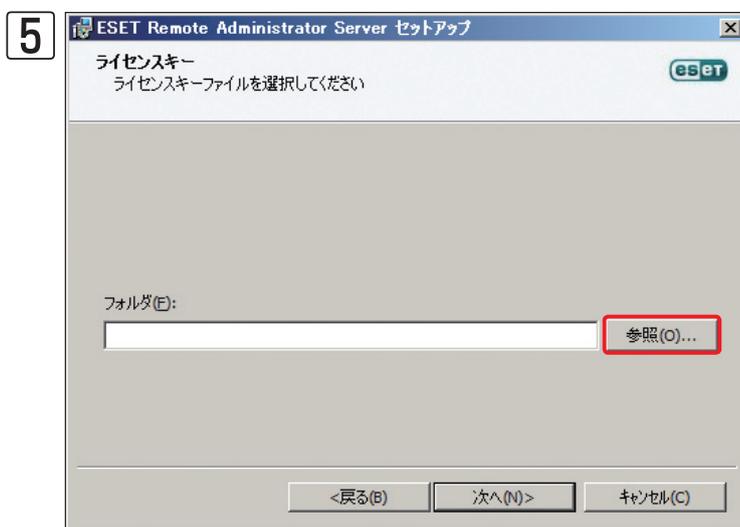
エンドユーザー契約条項をご一読の上、同意いただきましたら① [ライセンス契約条項を受諾します。] にチェックを入れ、② [次へ] ボタンをクリックします。



インストール方法を選択します。① [標準] にチェックを入れ、② [次へ] ボタンをクリックします。

POINT

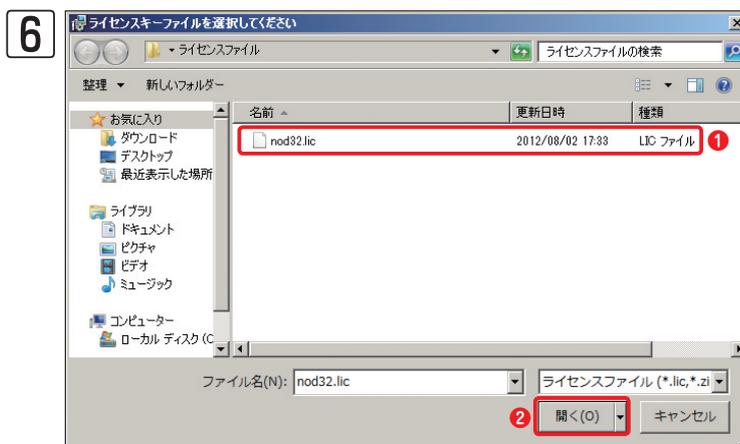
[詳細] にチェックを入れて [次へ] ボタンをクリックすると、詳細な設定が行えます。詳細で行うほとんどの設定は、プログラムインストール後に設定できます。なお、MDB形式以外のデータベースを利用する場合は、[詳細] を選択してください。手順については、13ページをご参照ください。



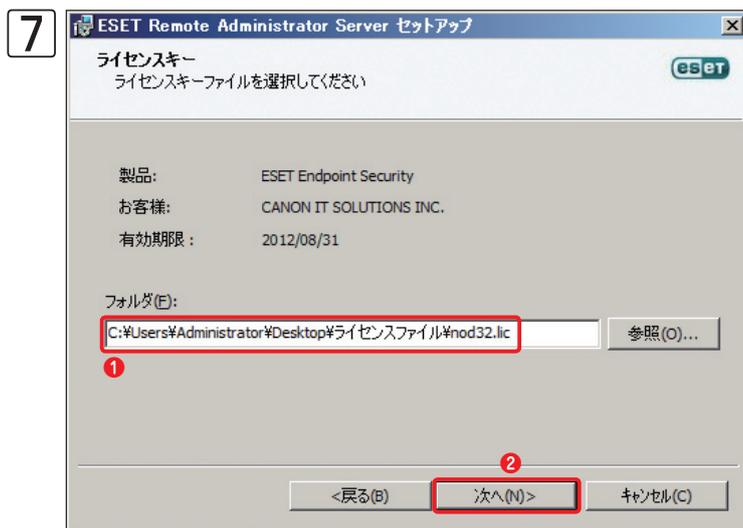
ライセンスキーファイルの登録ダイアログが表示されます。[参照] ボタンをクリックします。

POINT

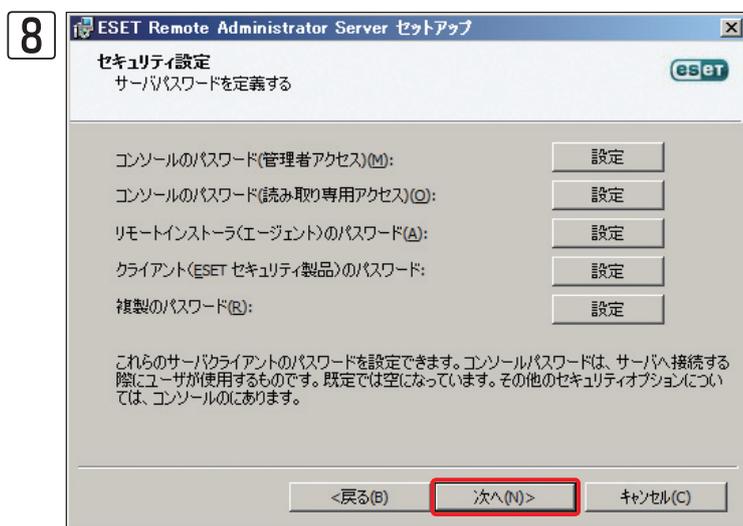
ライセンスキーファイルの登録は、ERASインストール後にも行えます。その場合は、[次へ] ボタンをクリックして、手順⑧に進みます。ERASインストール後にライセンスキーファイルを登録する方法については、58ページをご参照ください。



ライセンスキーファイルを選択します。[ファイルを開く] ダイアログが開きます。① ライセンスキーファイル [nod32.lic] を選択し、② [開く] ボタンをクリックします。



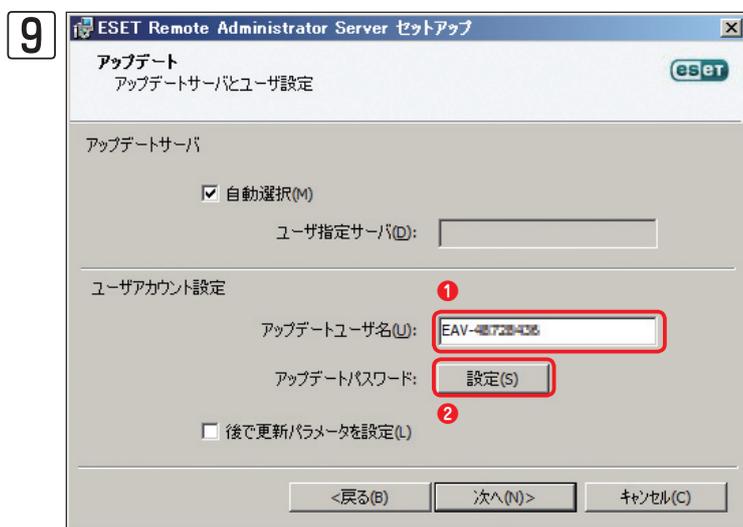
① 選択したライセンスキーファイルを確認し、② [次へ] ボタンをクリックします。



セキュリティ設定ダイアログが表示されます。
[次へ] ボタンをクリックします。

POINT

ここでは、ERASで利用されている各種パスワードの設定を行います。この設定は、プログラムインストール後に変更できます。インストール時は初期値「空のパスワード」(パスワード無し)のままにし、後から設定を行うことをお勧めします。



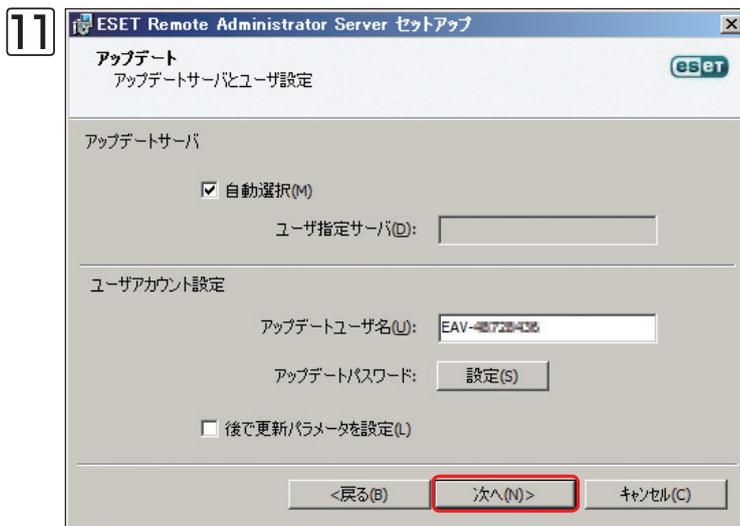
アップデート設定を行います。① [アップデートユーザ名] に「ライセンス通知書」に記載されている「ユーザー名」を入力し、② [設定] ボタンをクリックします。

POINT

[後でパラメータを設定] にチェックを入れると、アップデートの設定を行わずにインストールが行われます。アップデートの設定は、インストール後でも行えます。



① [パスワードの入力] ② [パスワードの再入力] に「ライセンス通知書」に記載されている同じ「パスワード」を入力し、③ [OK] ボタンをクリックします。

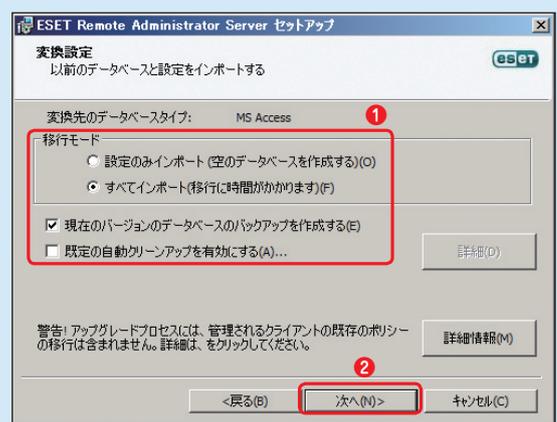


[次へ] ボタンをクリックします。

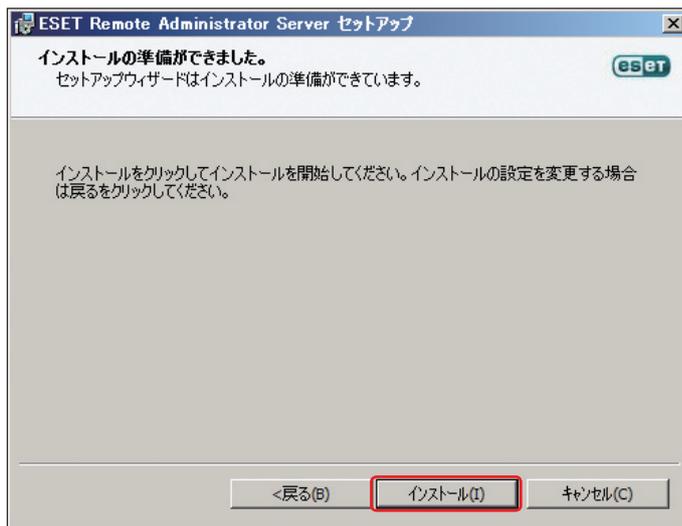
POINT

上書きインストールでERAのバージョンアップ(V4.0からV5.0など)を行うと、手順⑩の次に右の画面が表示されます。① 移行モードの設定やデータベースのバックアップを作成するかなどの設定を行い、② [次へ] ボタンをクリックします。

なお、[設定のみインポート] にチェックを入れ、インストールを行うと、ERASの設定のみが引き継がれ、これまで収集したログはリセットされるのでご注意ください。



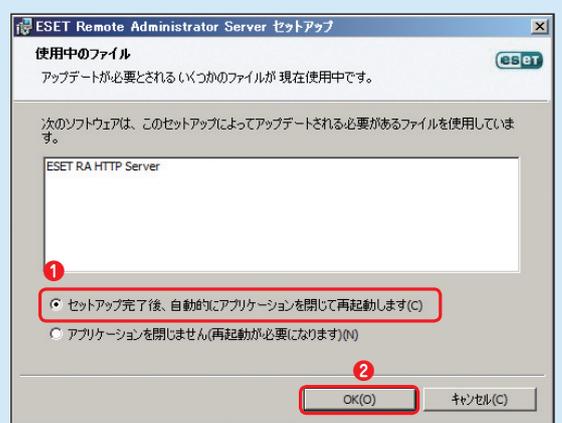
12



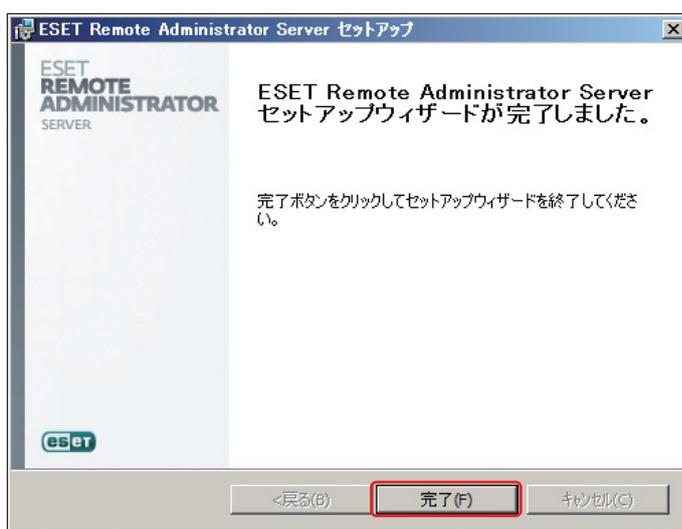
[インストール] ボタンをクリックします。

POINT

上書きインストールでERASのバージョンアップを行うと、利用中のファイルが存在することを知らせるダイアログが表示されることがあります。① [セットアップ完了後、自動的にアプリケーションを閉じて再起動します] にチェックを入れ、② [OK] ボタンをクリックします。



13



インストール中は進捗状況が表示され、インストールが終了すると、ダイアログが表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

1.2.2 インストール手順 (Microsoft SQL Server を利用する場合)

1.2

ESET Remote Administrator Server インストール

2

3

4

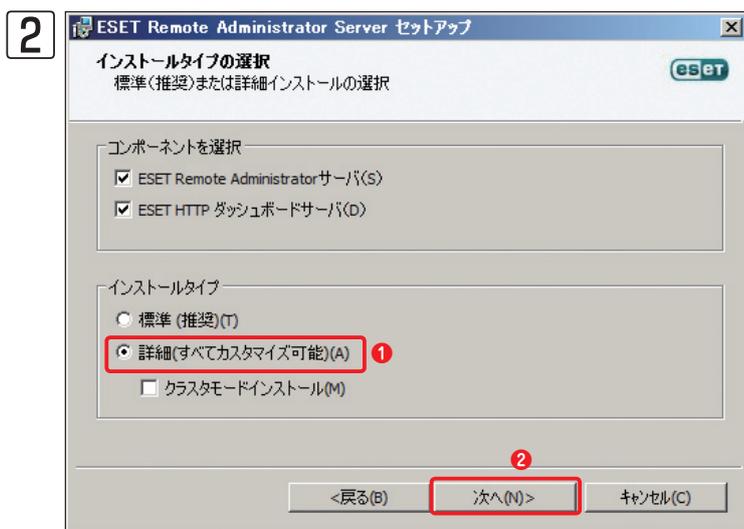
5

ESET Remote Administrator (ERA) で利用するデータベースは、インストール時に [詳細設定] を選択することで指定できます。

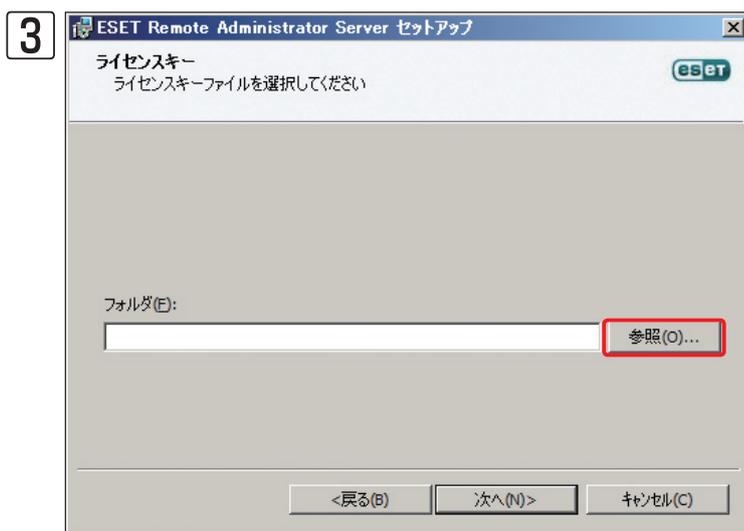
- 1 Microsoft SQL Serverで空のデータベースを作成します。

POINT

ERASで既定のデータベース(mdb形式)以外のデータベースを利用する場合は、事前に「空のデータベース」を作成しておく必要があります。空のデータベースの作成方法は、ご利用のデータベースソフト(Microsoft SQL Serverなど)のマニュアルをご参照ください。



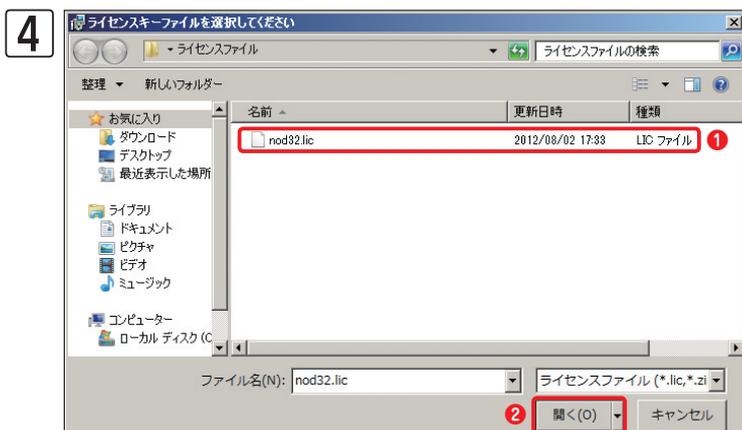
8ページを参考にERASのインストーラーを起動し、[インストールタイプの選択] ダイアログまでインストールを進めます。① [詳細] にチェックを入れ、② [次へ] ボタンをクリックします。



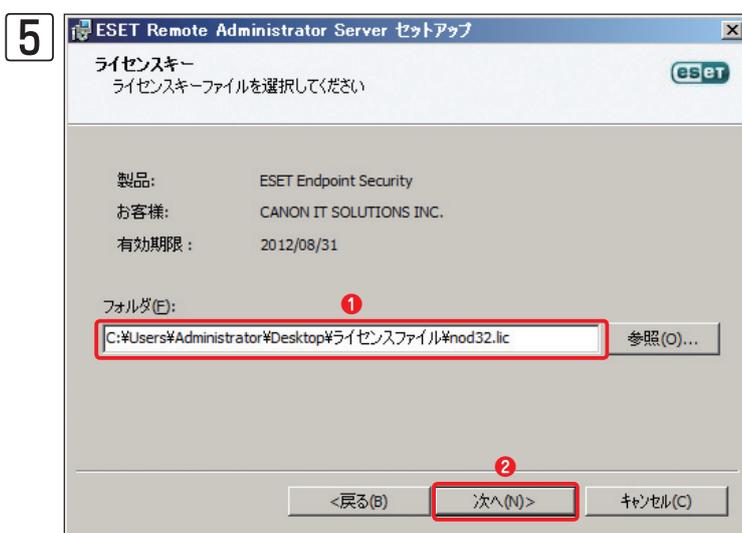
ライセンスキーファイルの登録ダイアログが表示されます。[参照] ボタンをクリックします。

POINT

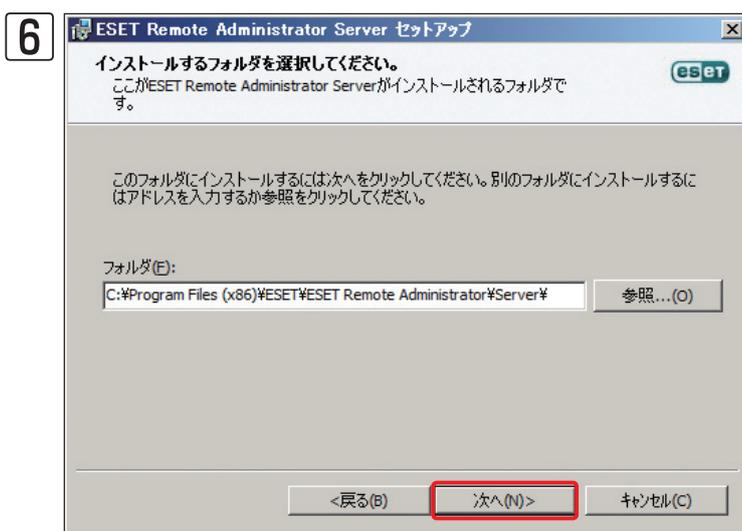
ライセンスキーファイルの登録は、ERASインストール後にも行えます。その場合は、[次へ] ボタンをクリックして手順⑧に進みます。ERASインストール後にライセンスキーファイルを登録する方法については、58ページをご参照ください。



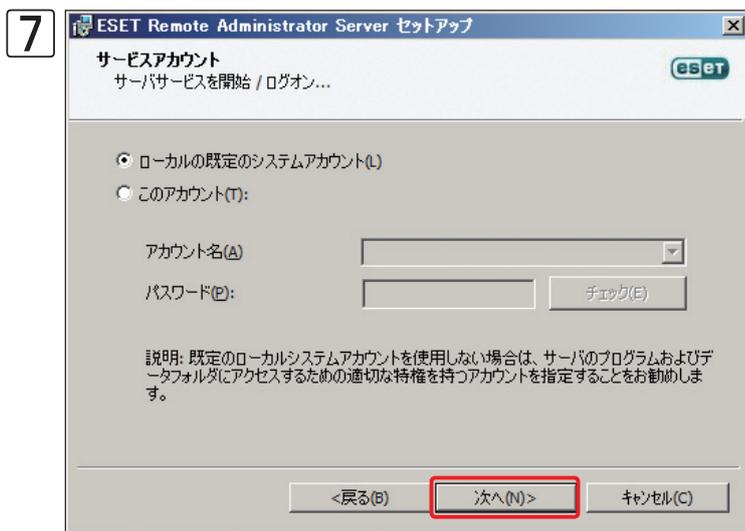
ライセンスキーファイルを選択します。[ファイルを開く] ダイアログが開きます。①ライセンスキーファイル [nod32.lic] を選択し、② [開く] ボタンをクリックします。



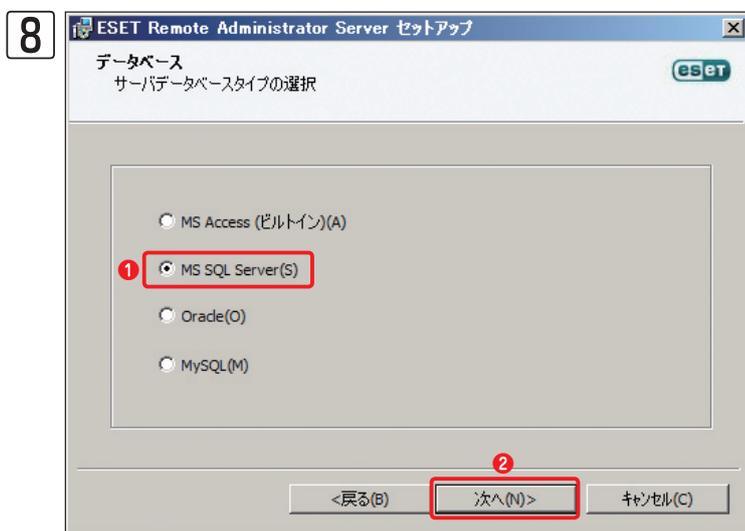
① 選択したライセンスキーファイルを確認し、② [次へ] ボタンをクリックします。



インストール先フォルダを選択します。既定値でインストールする場合は、[次へ] ボタンをクリックします。



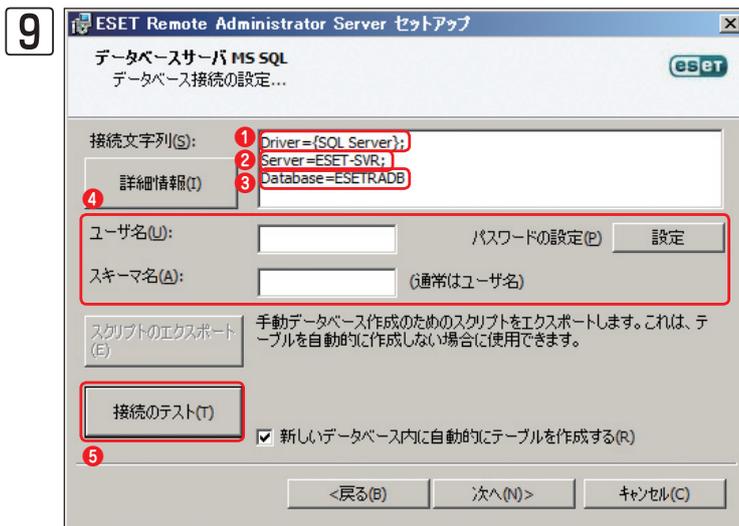
サービスアカウントの設定画面が表示されます。
[次へ] ボタンをクリックします。



データベースの種類を選択します。インストーラの指示に従って、[データベースの種類] の選択ダイアログまでインストール作業を進めます。[データベースの種類] の選択ダイアログが表示されたら、**1** 利用するデータベース(ここでは [MS SQL Server]) にチェックを入れ、**2** [次へ] ボタンをクリックします。

CAUTION

データベースの選択画面では、Microsoft Access、Microsoft SQL Server以外にOracle Database、MySQLも選択できますが、サポート対象となるデータベースは、Microsoft AccessとMicrosoft SQL Serverのみです。それ以外のデータベースは、サポート対象外となりますのでご注意ください。



データベースの接続設定を行います。[接続文字列] 欄を修正します。① [Driver=] にデータベースとの接続に利用するドライバー名を入力します。② [Server=] にSQLをインストールしたサーバー名を入力します。③ [Database=] に作成した空のデータベース名を入力します。④ SQL Server認証によりデータベースに接続する場合、[ユーザ名] [パスワード] [スキーマ名] の設定を行います。⑤ [接続のテスト] ボタンをクリックします。

POINT

データベースの接続設定が、間違っていると外部データベースに接続できません。[接続文字列] 欄を修正するときは、以下の点を参考に行ってください。

[Driver=]

[Driver=] には、データベースとの接続に利用するドライバー名を入力します。Microsoft SQL Serverでは、「SQL Server」と「SQL Native Client」の2種類のドライバーが利用できます。それぞれ以下のような形式で入力し、必ず最後に「;」を入力してください。なお、ドライバー名は、正確に入力してください。ドライバー名が間違っているとデータベースに接続できません。ドライバー名は、Windows標準で付属している「ODBCデータソースアドミニストレーター」などで確認できます。

SQL Serverの場合 Driver={SQL Server};

SQL Native Clientの場合 Driver={SQL Native Client};

[Server=]

サーバー名は、データベースのサーバー名を入力します。「Server=ESET-SVR;」というようにサーバー名の後に必ず「;」を入力してください。「;」が入力されていないとデータベースに接続できません。

[Database=]

接続するデータベースの名称を入力します。空のデータベースを作成したときに指定したデータベースの名称を入力してください。

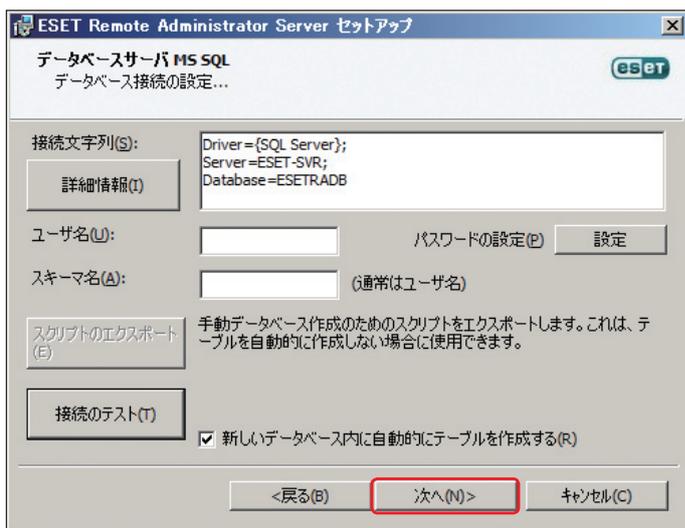


データベースの接続に成功すると、ダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

POINT

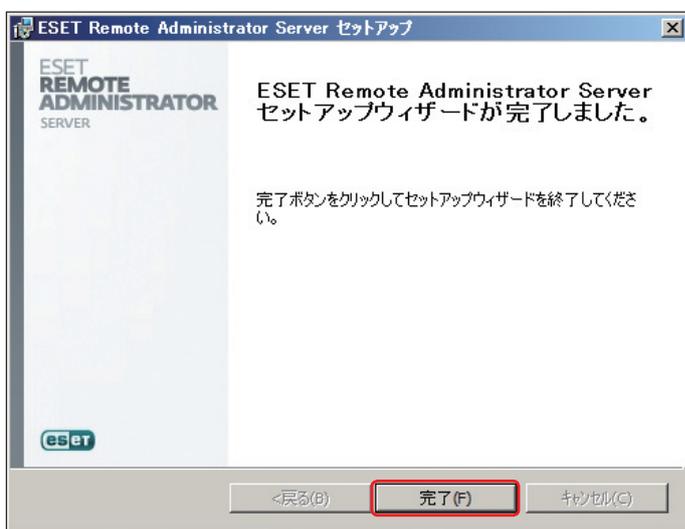
データベースに接続できない場合は、データベースの接続設定に問題がないか確認してください。

11



[次へ] ボタンをクリックし、インストールを進めます。インストールウィザードの指示に従ってインストールを継続してください。

12



インストール中は進捗状況が表示され、インストールが終了すると、ダイアログが表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

1.2

ESET Remote Administrator Serverインストール

2

3

4

5

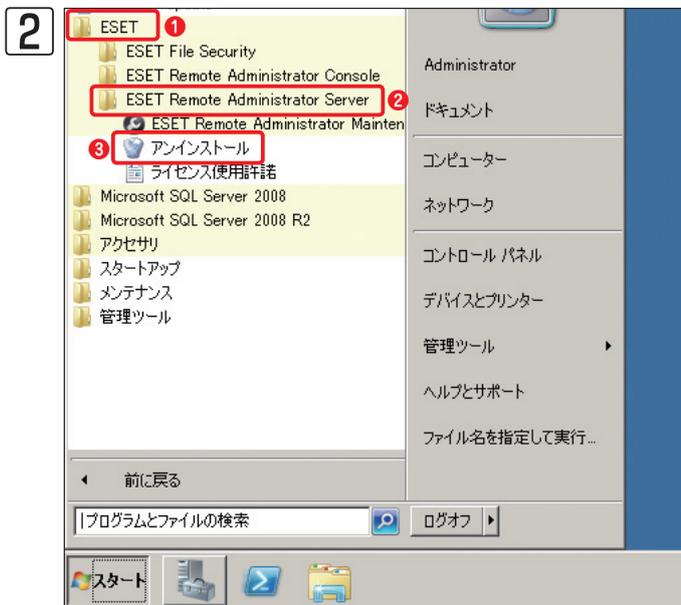
1.3

ESET Remote Administrator Serverのアンインストール

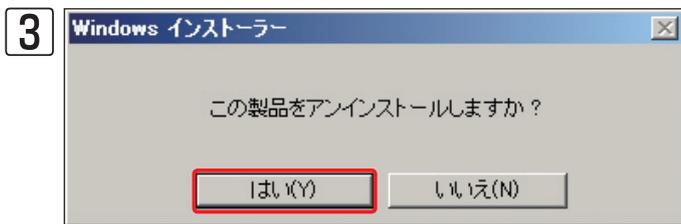
ESET Remote Administrator Server (ERAS)のアンインストール方法を説明します。ERASのアンインストールは、以下の手順で行います。

1.3.1 アンインストール手順

1 [スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] とクリックします。



アンインストーラーを起動します。① [ESET] → ② [ESET Remote Administrator Server] → ③ [アンインストール] と順にクリックします。



確認ダイアログが表示されます。[はい] ボタンをクリックします。

POINT

[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



アンインストール処理実行中は、進捗状況が表示されます。進捗状況の表示が消えるとアンインストールの完了です。

1.4

ESET Remote Administrator Consoleのインストール

1.4

ESET Remote Administrator Consoleのインストール

2

3

4

5

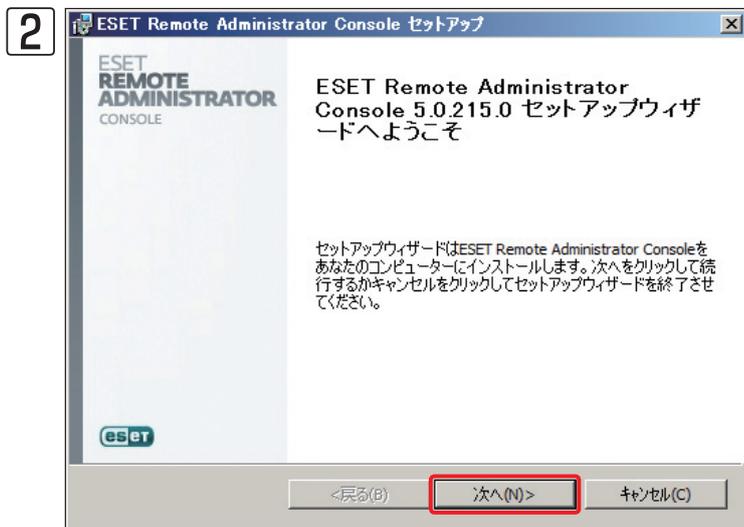
ここでは、管理サーバー操作プログラム、ESET Remote Administrator Console (ERAC) のインストール手順を説明します。ERACのインストールは、弊社ユーザーズサイトからダウンロードしたインストーラーを利用して行います。

1.4.1 インストール手順

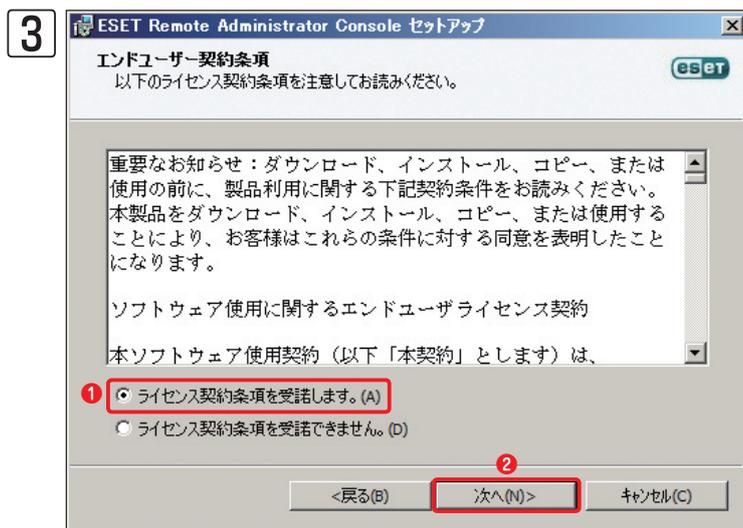
- 1 ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックします。

POINT

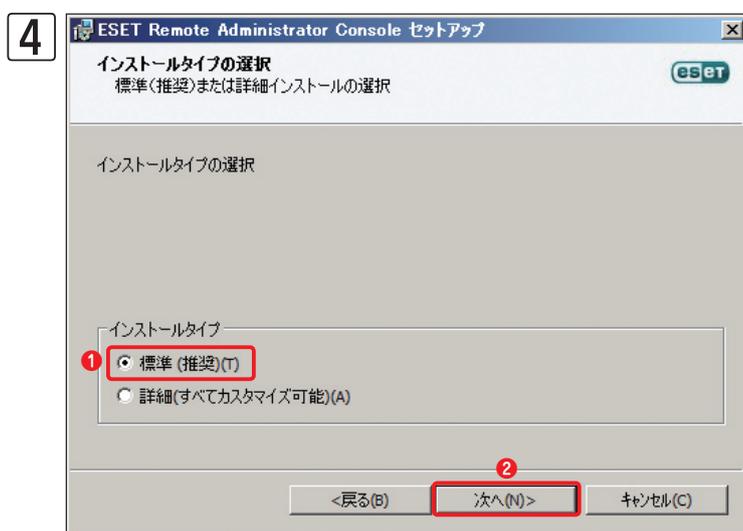
すでにご利用中のERACのバージョンアップを行う場合は、本節の手順に従って、上書きインストールを行います。



セットアップウィザードが起動します。[次へ] ボタンをクリックします。



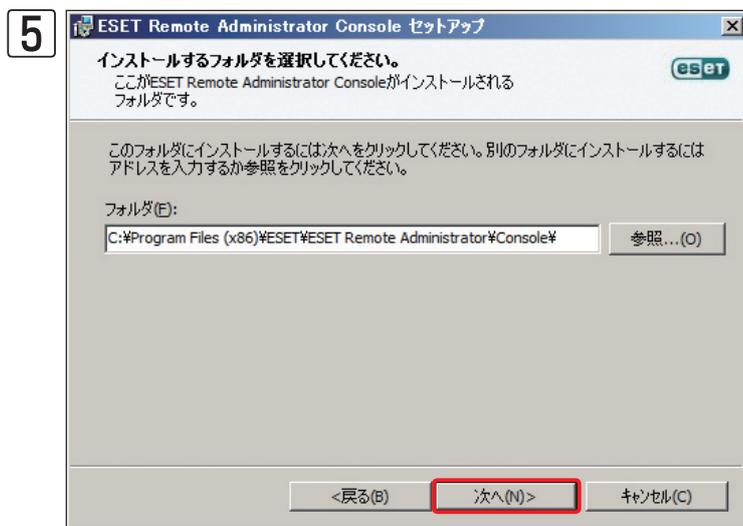
エンドユーザー契約条項をご一読の上、同意いただけましたら① [ライセンス契約条項を受諾します。] にチェックを入れ、② [次へ] ボタンをクリックします。



インストール方法を選択します。① [標準] にチェックを入れ、② [次へ] ボタンをクリックします。

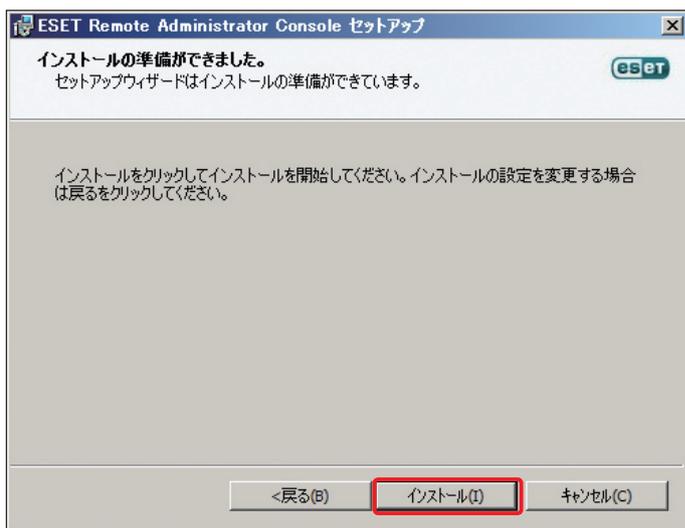
POINT

[詳細] にチェックを入れて [次へ] ボタンをクリックすると、詳細な設定が行えます。詳細の設定は、プログラムインストール後に設定できます。



インストール先フォルダを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

6

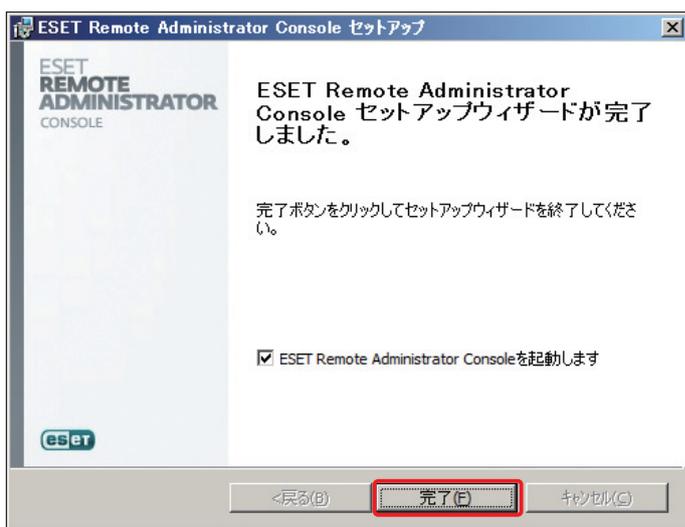


[インストール] ボタンをクリックします。

POINT

[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[はい] ボタンをクリックします。

7



インストール中は進捗状況が表示され、インストールが終了すると、ダイアログが表示されます。
[完了] ボタンをクリックします。

POINT

[ESET Remote Administrator Consoleを起動します] にチェックを入れておくと、インストール終了と同時にERACが起動します。

1.4

ESET Remote Administrator Consoleインストール

2

3

4

5

1.5

ESET Remote Administrator Consoleのアンインストール

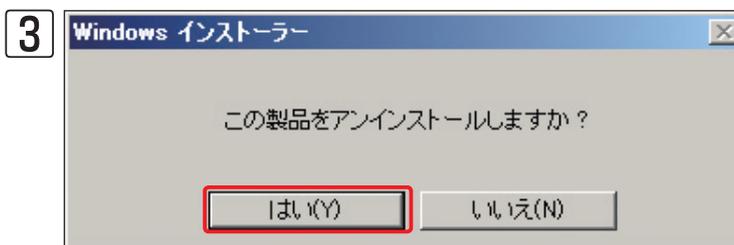
ESET Remote Administrator Console (ERAC) のアンインストール方法を説明します。ERACのアンインストールは、以下の手順で行います。

1.5.1 アンインストール手順

1 [スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] とクリックします。



アンインストーラーを起動します。① [ESET] → ② [ESET Remote Administrator Console] → ③ [アンインストール] と順にクリックします。



確認ダイアログが表示されます。[はい] ボタンをクリックします。

POINT

[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

4 アンインストール処理実行中は、進捗状況が表示されます。進捗状況の表示が消えるとアンインストールの完了です。

[Chapter 2]

サーバー・クライアント用 プログラムの インストール概要

2.1 サーバー・クライアント用プログラムのインストール方法の概要…………… 24

2.1

サーバー・クライアント用プログラムのインストール方法の概要

ESETセキュリティ製品では、サーバー・クライアント用セキュリティプログラムのインストールに際して、お客様の多様な環境に応じるように、いくつかの方法を用意しています。本節では、サーバー・クライアント用セキュリティプログラムの各種インストール方法の概要について説明します。

ESETセキュリティ製品で用意されているインストール方法は、大きく「手動インストール」と「リモートインストール」の2種類があります。サーバー・クライアントの設置台数や導入台数、運用方法などに応じて選択してください。また、ご利用のOSによって、利用できるインストール方法が異なります。以降に詳細なインストール方法を記載していますので参考にしてください。

2.1.1 インストール方法の概要 (Windows)

Windows用セキュリティプログラムは、以降に記載しているインストールの実施方法があります。クライアントPCの設置台数や導入台数、運用方法などに応じて選択してください。また、詳細な導入手順については、「ユーザーズガイド 導入・運用編」をご参照ください。

●手動インストール

インストール方法	必要なファイル	特徴
インストーラー(.msi)を利用	●インストーラー(.msi)	製品パッケージに付属するインストーラー(.msi)をそのまま利用してインストールを行います。クライアントPC用ソフトウェアの各種設定は、すべて既定値が利用されるので、管理サーバーやミラーサーバーを設置する場合は、接続設定など最低限必要となる設定を、各自、ソフトウェアインストール後に行う必要があります。
設定読み込み型インストール	●インストーラー(.msi) ●設定ファイル ●バッチファイル	クライアントPC用ソフトウェアの設定ファイルを事前に作成し、その設定ファイルとインストーラー(.msi)を組み合わせることでインストールを行います。設定ファイルの内容をインストール時に適用できるので、インストール後の設定が不要または最小限にすることができます。また、設定ファイルの作成に、クライアントPC用ソフトウェアからのエクスポートを利用した場合、ERAを利用しなくても、このインストール方法を利用できます。実際のインストールには、インストーラー(.msi)と設定ファイルの他にインストール用のバッチファイルが必要になります。
設定組み込み済みインストーラーを利用	●設定組み込み済みインストーラー ●バッチファイル(サイレントインストールを行う場合)	インストーラー(.msi)に独自の設定を施したインストーラー(設定組み込み済みインストーラー)を作成し、それを利用してインストールを行います。設定ファイルの内容をインストール時に適用できるので、インストール後の設定が不要または最小限にすることができます。設定組み込み済みインストーラーの作成には、ERAを利用する必要があります。なお、インストールウィザードを表示しないサイレントインストールを行うには、インストール用のバッチファイルが必要になります。

※各インストーラーは、リムーバブルメディアや共有フォルダーに保存し、各クライアントPC上にコピーして利用します。

●リモートインストール

インストール方法	必要なファイル	特徴
プッシュインストール	インストールパッケージ	ERAを利用し、リモートでクライアントPC にログオンしてインストールを行う方法です。1度の操作で複数のクライアントPC に対して操作を実行できるので、インストール効率は高くなります。ただし、この方法でインストールを実施するには、対象クライアントPC の環境に関して各種条件があります。
ログオンスクリプトを利用	インストールパッケージ	Active Directoryのドメインログオン時にログオンスクリプトを利用して自動インストールを行う方法です。インストールが自動実行されるので、インストール効率は高くなります。ただしこの方法は、Active Directory環境でネットワークを構築している場合にのみ利用できます。
電子メールを利用	インストールパッケージ	インストールパッケージの一部を電子メールに添付してクライアントPC に送り、ユーザーがそれを実行し、インストールを開始する方法です。インストールパッケージ本体をERAから取得するため、クライアントPCとERAが通信できる必要があります。

※インストールパッケージはERAを利用して作成します。各クライアントPCに適用する内容およびインストール時のオプションを設定することができます。

※リモートインストールの詳細については「ユーザーズガイド 導入・運用編」をご参照ください。

2.1.2 インストール方法の概要 (Mac OS X)

Mac OS X用セキュリティプログラムは、以降に記載しているインストールの実施方法があります。インストールにあたっては、クライアントPCの設置環境や導入台数、運用方法などに応じて選択してください。詳細な導入手順については、「ユーザーズガイド 導入・運用編」をご参照ください。

●手動インストール

インストール方法	必要なファイル	特徴
付属のインストーラー(.dmg)を利用	インストーラー(.dmg)	製品パッケージに付属するインストーラー(.dmg)をそのまま利用してインストールを行います。カスタムインストールを行うことで、管理サーバーやミラーサーバーへの接続設定などを行えます。
設定組み込み済みインストーラー(.pkg)を利用	設定組み込み済みインストーラー(.pkg)	アップデートサーバーへの接続設定や管理サーバーへの接続設定、権限ユーザーの設定などを行った設定済みパッケージ(.pkg)を利用してインストールを行います。設定組み込み済みインストーラー(.pkg)は、付属のインストーラー(.dmg)を利用して作成します。

●リモートインストール

インストール方法	必要なファイル	特徴
プッシュインストール	インストールパッケージ	ERAを利用し、リモートでクライアントPC にログオンしてインストールを行う方法です。1度の操作で複数のクライアントPC に対して操作を実行できるので、インストール効率は高くなります。ただし、この方法でインストールを実施するには、対象クライアントPC の環境に関して各種条件があります。
Apple Remote Desktopを利用	設定組み込み済みインストーラー(.pkg)	Apple社のリモート管理ソフト「Apple Remote Desktop」などを利用して、リモートインストールを行います。インストールには、付属のインストーラー(.dmg)で作成した設定組み込み済みインストーラー(.pkg)が必要です。アップデートサーバーへの接続設定や管理サーバーへの接続設定、権限ユーザーの設定などを事前に行っておくことができます。

2.1.3 インストール方法の概要 (Linux)

Linux用セキュリティプログラムは、以降に記載しているインストールの実施方法があります。詳細な導入手順については、「ユーザズガイド 導入・運用編」をご参照ください。

●手動インストール

インストール方法	必要なファイル	特徴
インストーラー(.bin)を利用	インストーラー(.bin)	弊社ユーザズサイトからダウンロードしたインストーラー(.bin)を利用して、コマンドラインで作業を行います。インストール作業は、root権限(スーパーユーザー)で行う必要があります。また、ソフトウェアの各種設定は、インストール作業完了後にすべて手動で行います。

2.1.4 インストール方法の概要 (Android)

Android用セキュリティプログラムは、以降に記載しているインストールの実施方法があります。詳細な導入手順については、「ユーザズガイド 導入・運用編」をご参照ください。

●手動インストール

インストール方法	必要なファイル	特徴
インストーラー(.apk)を利用	インストーラー(.apk)	弊社ユーザズサイトからダウンロードしたインストーラー(.apk)を利用して、インストールを行います。ソフトウェアの各種設定は、インストール作業完了後に手動で行います。
設定読み込み型インストール	インストーラー(.apk) 設定ファイル(xml)	Android端末の設定ファイルを事前にERA付属のESET コンフィグレーションエディターで作成し、その設定ファイルとインストーラー(.apk)を組み合わせることでインストールを行います。設定ファイルの内容をインストール時に適用できるので、インストール後の設定を最小限にすることができます。設定ファイルは、「settings.xml」というファイル名で保存する必要があります。また、インストールを行うときは、設定ファイルをAndroid端末の「/mnt/sdcard」フォルダーにコピーしてインストール作業を実施します。
Link Generatorを利用	インストーラー(.apk)	Android端末の設定ファイルを事前にERA付属のESET コンフィグレーションエディターで作成し、ESET社が提供するLink Generatorで作成したリンクとインストーラー(.apk)を組み合わせることでインストールを行います。インストーラー(.apk)を利用してインストールした後、対象とするAndroid端末に配布したリンクをタップすることで、Android端末が自動的にERAに接続し、設定が反映されるので、インストール後の設定を最小限にすることができます。

[Chapter 3]

サーバー用プログラムの インストール方法

3.1 ESET File Security for Microsoft Windows Server の インストール	28
3.2 旧製品からの移行	32
3.3 ESET File Security for Microsoft Windows Server の アンインストール	37
3.4 ESET File Security for Linux のインストール	41
3.5 ESET File Security for Linux のアンインストール	43

3.1

ESET File Security for Microsoft Windows Server のインストール

ここでは、ESET File Security for Microsoft Windows Serverのインストール方法（インストーラーを利用した手動インストール）を紹介します。

リモートインストールや設定組み込み・読み込みインストールを行う場合は、「ユーザズガイド 導入・運用編」および「ESET Remote Administrator ユーザズマニュアル」をご参照ください。

旧製品（ESET NOD32アンチウイルス）をご利用の場合は、本プログラムをインストールする前に必ず旧製品をアンインストールしていただく必要があります。旧製品（ESET NOD32アンチウイルス）から移行を行う場合は、必ず、32ページの手順に従ってインストールを行ってください。

また、他社製のアンチウイルスソフトまたは、ファイアウォールソフトがインストールされている場合は、必ずあらかじめアンインストールを行ってからESET File Security for Microsoft Windows Serverのインストールを行ってください。

3.1.1 インストール手順

1



ダウンロードしたインストーラー（.msi）をダブルクリックします。

CAUTION

ESET File Security for Microsoft Windows Serverは、サーバー OSにのみインストールできます。Windows 7などのクライアント用OSにはインストールできません。具体的な動作環境については、製品ホームページをご参照ください。

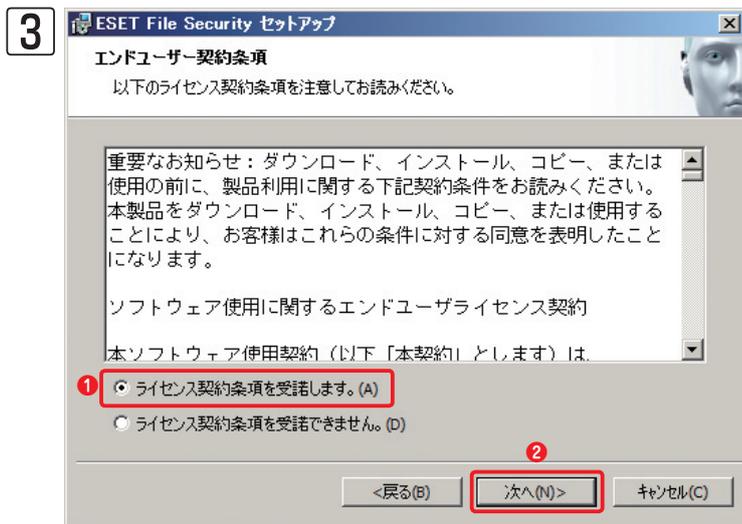
製品ホームページ

<http://canon-its.jp/product/eset/license/>

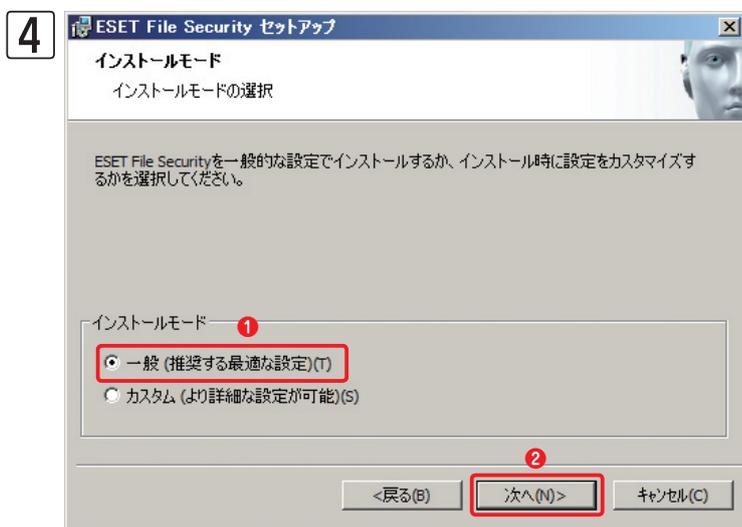
2



インストーラーが起動します。[次へ] ボタンをクリックします。



エンドユーザー契約条項が表示されます。①内容を
確認し、「ライセンス契約条項を受諾します」
にチェックを入れ、② [次へ] ボタンをクリック
します。

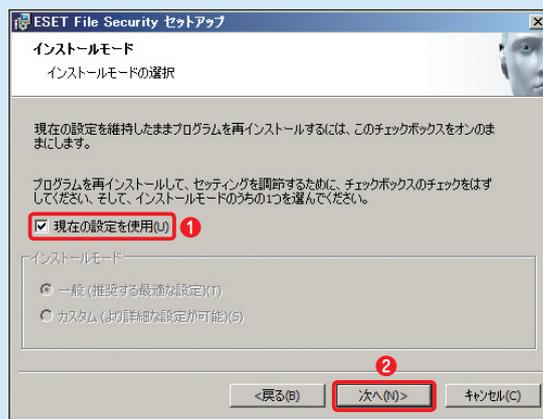


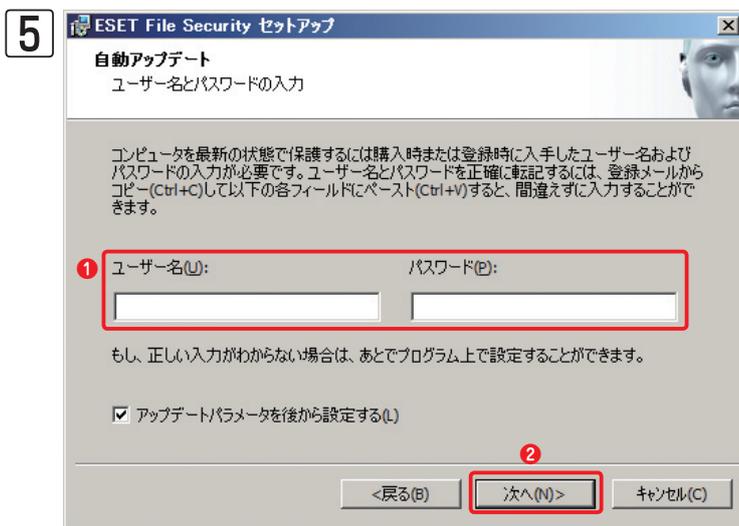
インストールモードを選択します。① [一般] に
チェックを入れ、② [次へ] ボタンをクリックし
ます。

POINT

[カスタム] にチェックを入れて [次へ] ボタンをクリックすると、詳細な設定を行うことができます。

また、上書きインストールで ESET File Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップを行うと、手順④で右の画面が表示されます。[現在の設定を使用] にチェックを入れて、[次へ] ボタンをクリックすると、現在利用中の設定が引き継がれます。

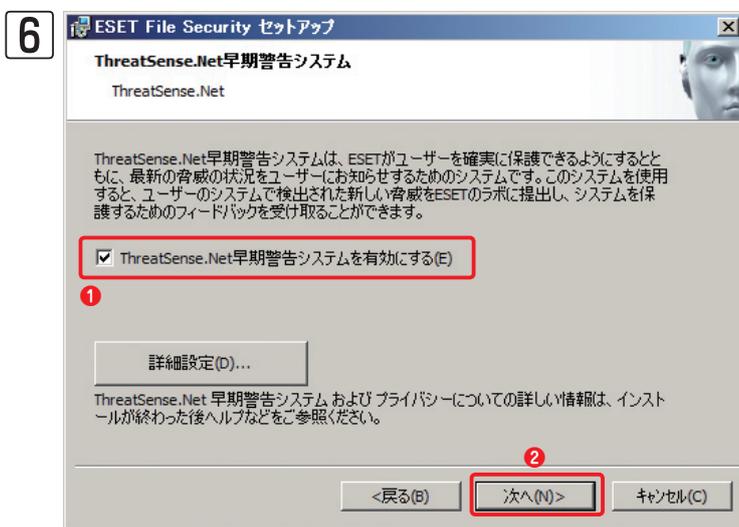




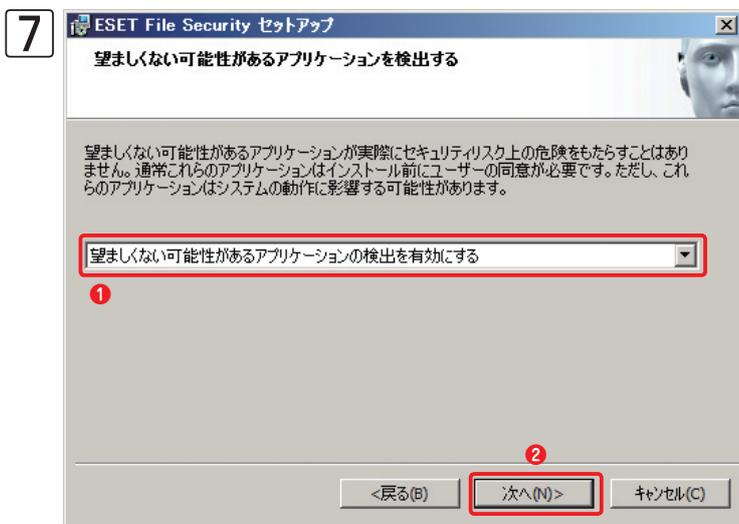
①「ライセンス通知書」に記載の[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、②[次へ]ボタンをクリックします。

POINT

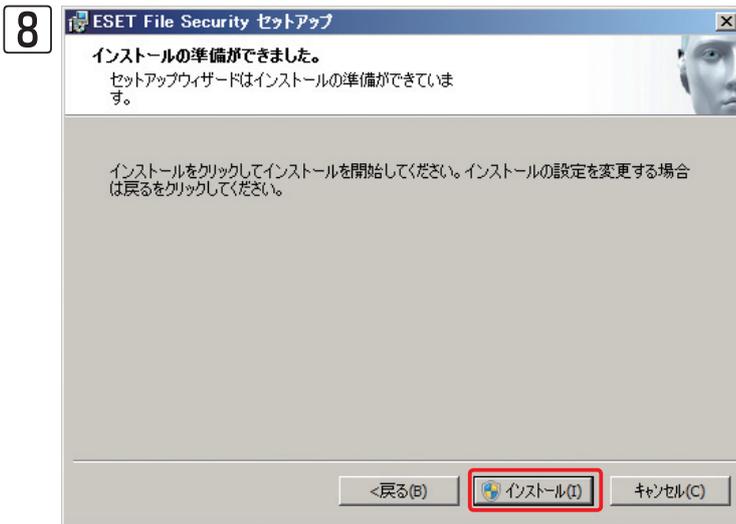
[ユーザー名]と[パスワード]を入手していない場合またはERA(ESET Remote Administrator)をご利用の場合は、[アップデートパラメータを後から設定する]にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。[ユーザー名]と[パスワード]の設定はインストール後、設定画面から行えます。



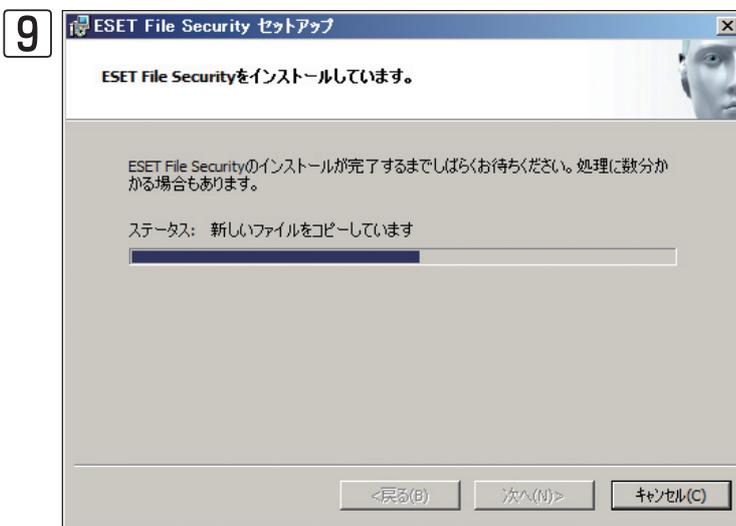
①ThreatSense.Net早期警告システムの設定を確認し、②[次へ]をクリックします。



望ましくない可能性があるアプリケーションの検出を有効にするかどうかの選択を行います。ここでは、①ドロップダウンボタンをクリックし「望ましくない可能性があるアプリケーションの検出を有効にする」を選択します。②[次へ]ボタンをクリックします。



以上でインストールの準備が整いました。[インストール] ボタンをクリックします。



インストールが始まります。インストール中は、進捗状況が表示されます。しばらくお待ちください。

POINT

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい] ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了です。[完了] ボタンをクリックします。

3.2

旧製品からの移行

旧製品からの移行について

ここでは、旧製品 (ESET NOD32 アンチウイルス) から ESET File Security for Microsoft Windows Server への移行手順を紹介します。旧製品をご利用の場合は、本プログラムをインストールする前に必ず旧製品をアンインストールしていただく必要があります。必ず、ここで紹介する手順で本プログラムのインストールを行ってください。

旧製品がインストールされているまま本プログラムへ移行を実施しようとすると、下の警告画面が表示されます。本プログラムへ移行を行う場合は、必ず、旧製品のアンインストールを行ってください。



●旧製品からの移行の流れ

① 旧製品のアンインストール



② 本プログラムのインストール

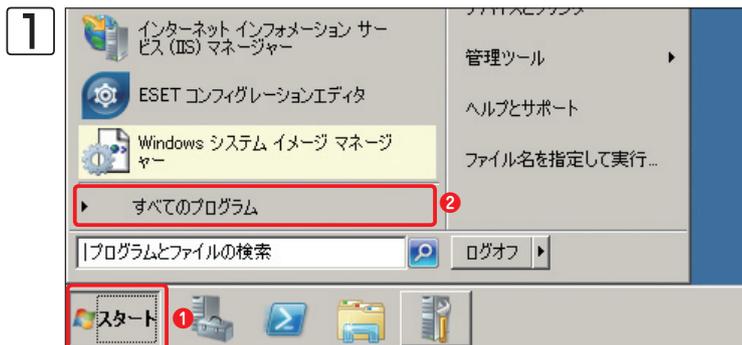


③ 本プログラムの設定

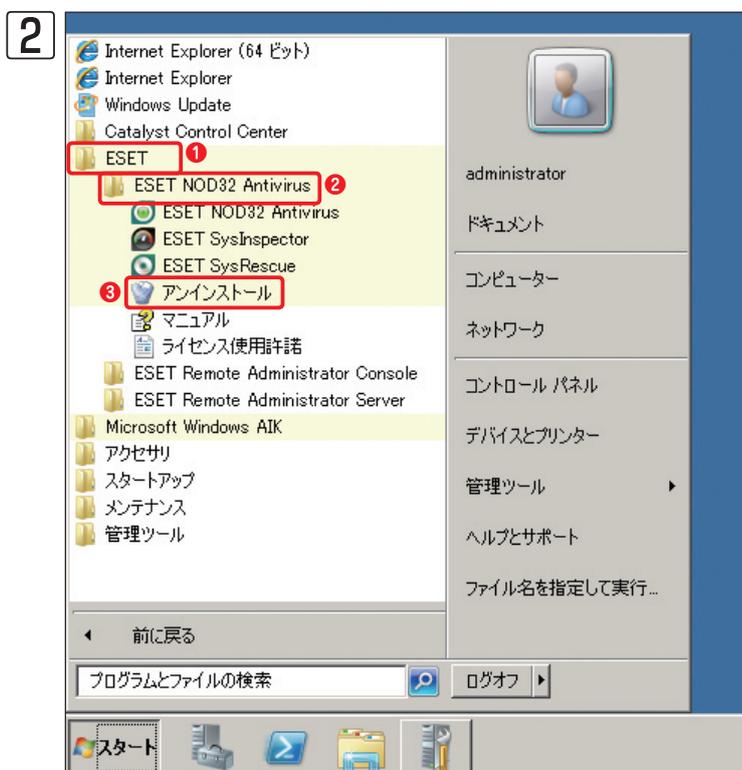
CAUTION

旧製品をアンインストールすると旧製品の設定情報も失われます。そのため必要な設定 (ウイルス検査の除外設定、スケジュール設定など) はアンインストール前にメモなどに記録してください。

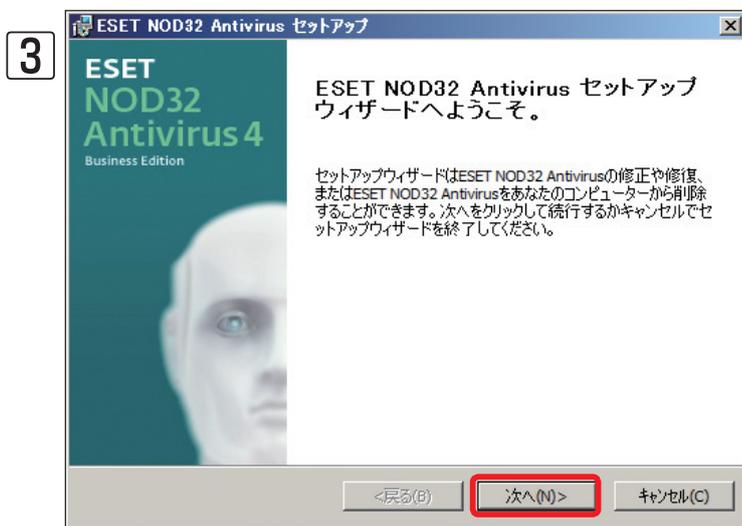
3.2.1 旧製品からの移行手順



旧製品をアンインストールします。ここでは、ESET NOD32アンチウイルス V4.2を例に説明します。**①**[スタート]→**②**[すべてのプログラム]を選択します。



①[ESET]→**②**[ESET NOD32 Antivirus]→**③**[アンインストール]を選択します。



ESET NOD32アンチウイルスセットアップが起動します。[次へ]ボタンをクリックします。

3.2

旧製品からの移行

1

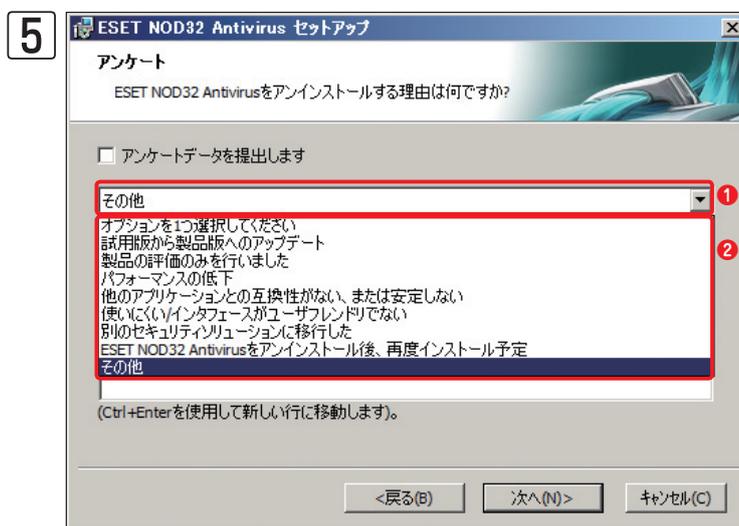
2

4

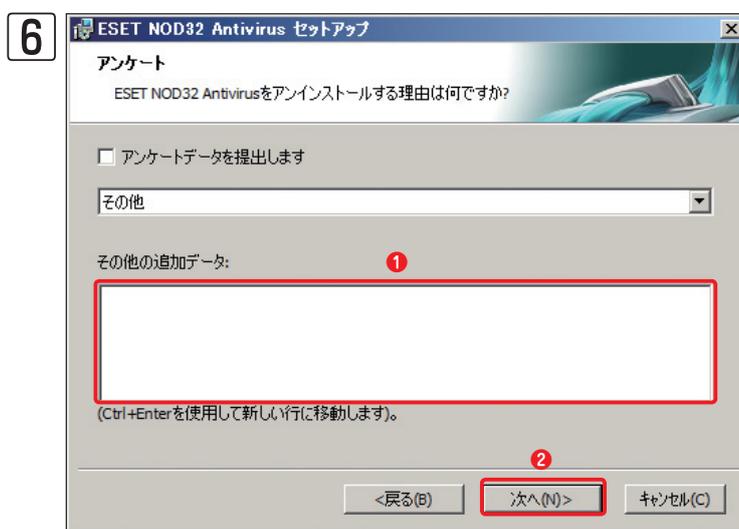
5



[削除]ボタンをクリックします。

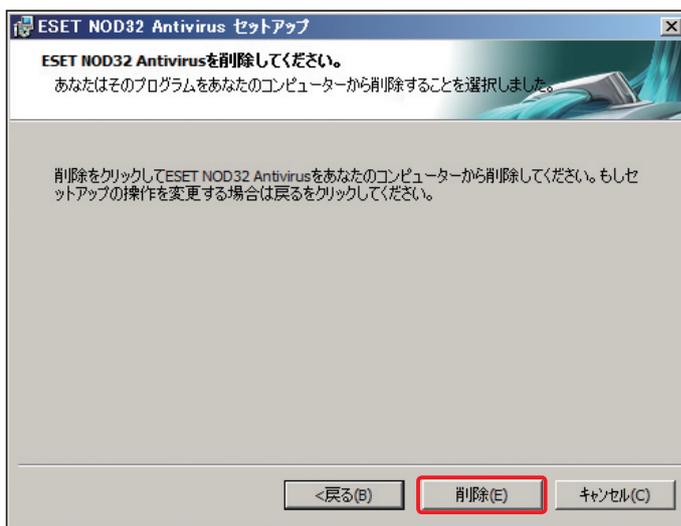


① [オプションを1つ選択してください]をクリックし、②表示されるメニューから項目を選択します。



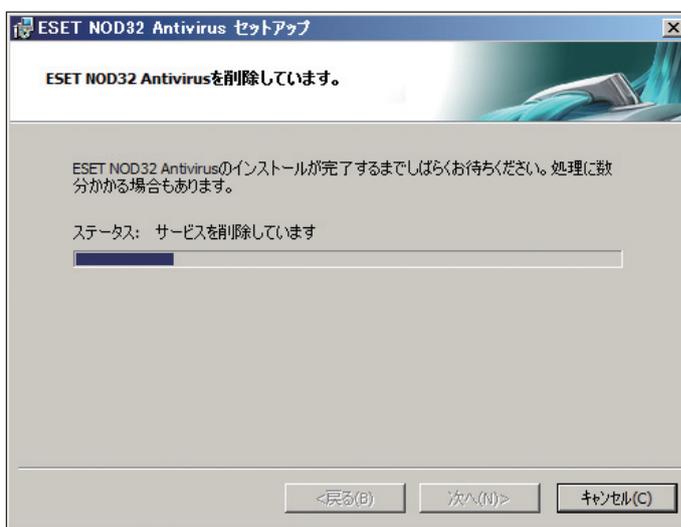
① アンインストールした理由やご意見などがありましたらご入力ください。② [次へ]ボタンをクリックします。

7



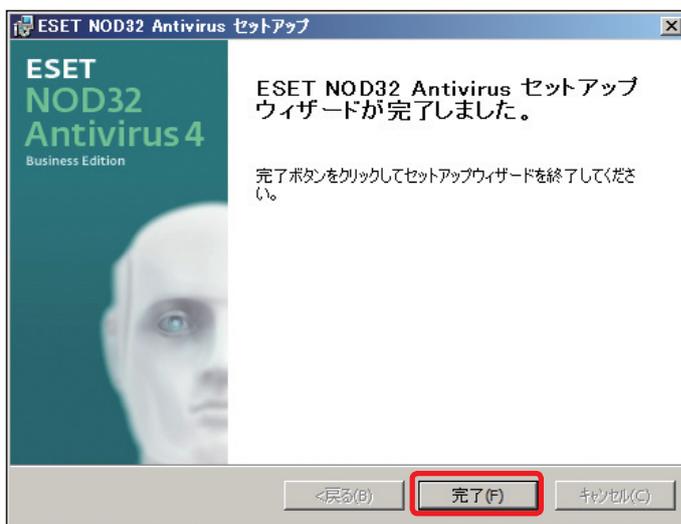
[削除]ボタンをクリックします。

8



進捗状況が表示されます。

9



[完了] ボタンをクリックします。

3.2

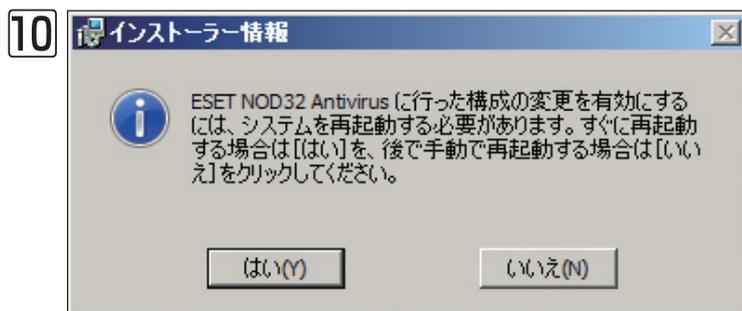
旧製品からの移行

1

2

4

5



ダイアログが表示されます。[はい] ボタンをクリックするとコンピューターが再起動されます。[いいえ] ボタンをクリックしたときは、コンピューターを手動で再起動してください。

11 コンピューターが再起動したら、28ページを参考にESET File Security for Microsoft Windows Serverのインストールを行います。

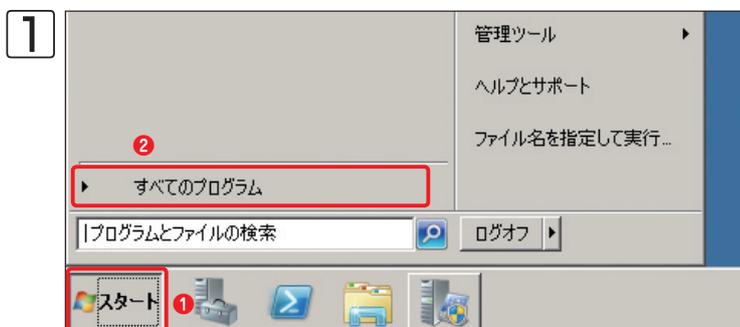
12 ESET File Security for Microsoft Windows Serverのインストールが終了したら、必要に応じて各種設定（ユーザー名やパスワードの設定、ウイルス検査の除外設定、スケジュールの設定など）を行ってください。

3.3

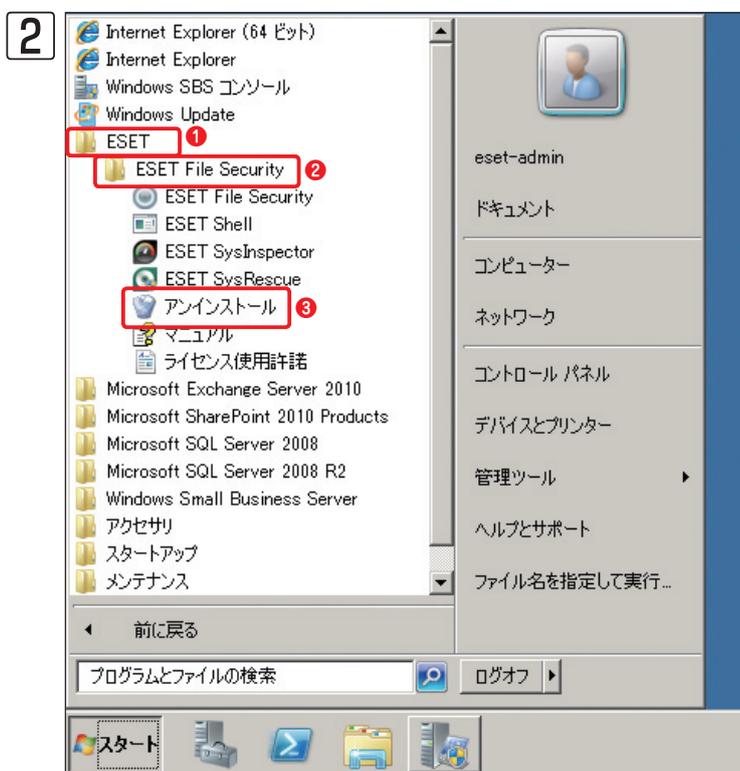
ESET File Security for Microsoft Windows Server
のアンインストール

ESET File Security for Microsoft Windows Serverのアンインストール方法を説明します。ESET File Security for Microsoft Windows Serverのアンインストールは、以下の手順で行います。

3.3.1 アンインストール手順



① [スタート] → ② [すべてのプログラム] を選択します。



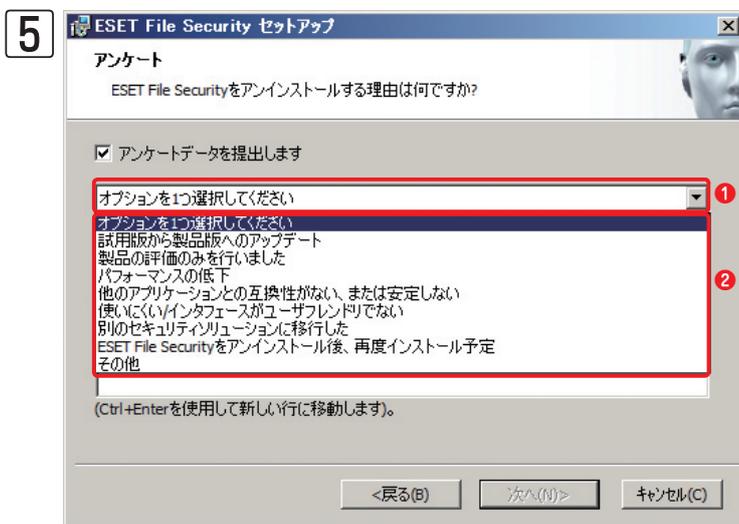
① [ESET] → ② [ESET File Security] → ③ [アンインストール] を選択します。



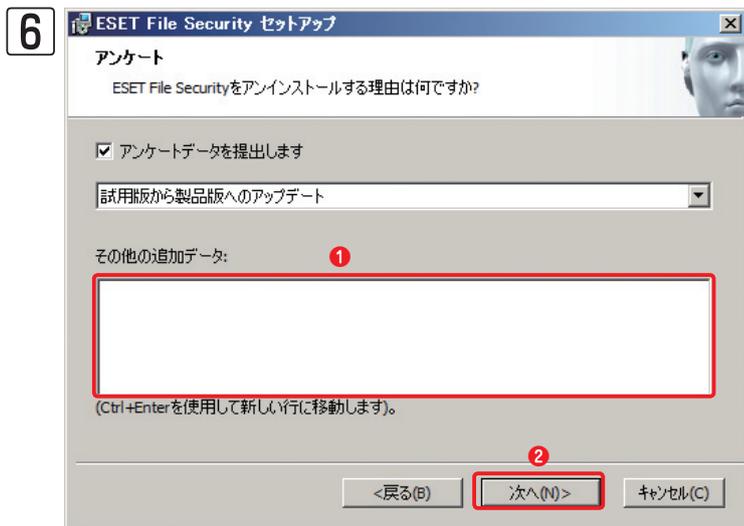
ESET File Securityセットアップが起動します。
[次へ] ボタンをクリックします。



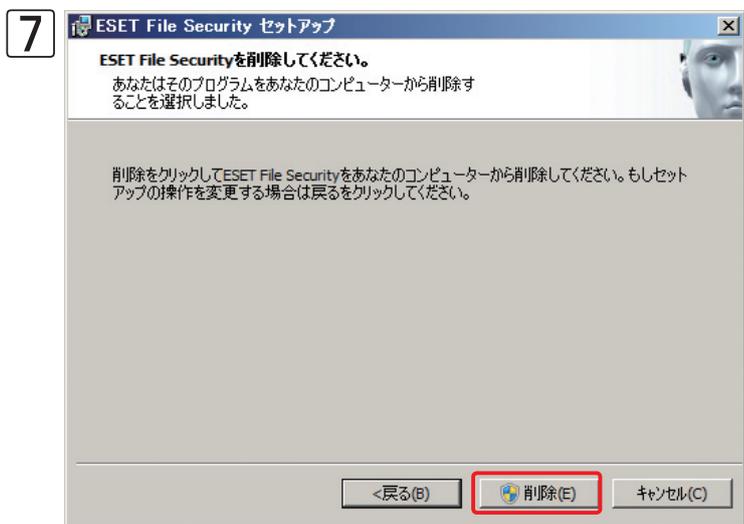
[削除] ボタンをクリックします。



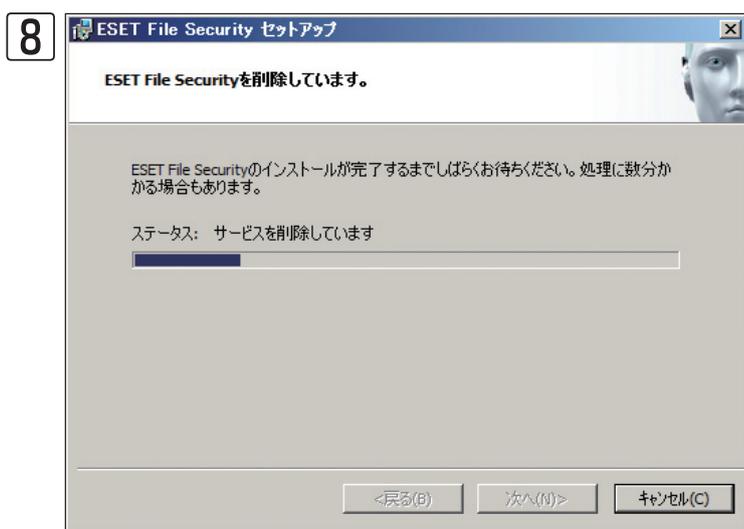
① [オプションを1つ選択してください] をクリックし、② 表示されるメニューから項目を選択します。



① アンインストールした理由やご意見などがありましたらご入力ください。② [次へ] ボタンをクリックします。



[削除] ボタンをクリックします。



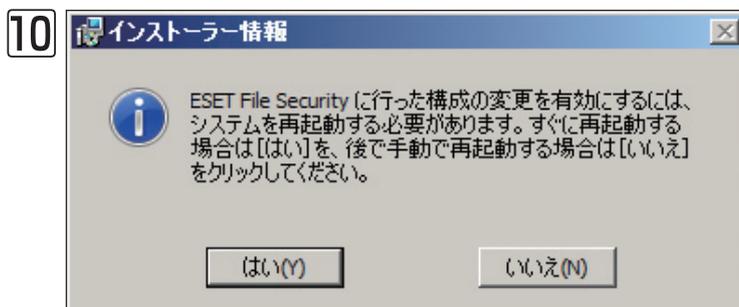
進捗状況が表示されます。

▶▶▶ POINT

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい] ボタンをクリックします。



[完了] ボタンをクリックします。



ダイアログが表示されます。[[はい] ボタンをクリックするとコンピューターが再起動されます。[[いいえ] ボタンをクリックしたときは、コンピューターを手動で再起動してください。

3.4

ESET File Security for Linuxのインストール

ここでは、ESET File Security for Linuxのインストール手順を説明します。本製品のインストールは、弊社ユーザーズサイトからダウンロードしたインストーラーを利用して、コマンドラインで行います。インストール作業は、root権限（スーパーユーザー）で行ってください。

また、他社製のアンチウイルスソフトがインストールされている場合は、必ずアンインストールを行ってください。

3.4.1 インストール手順

- 1 ここでは、「/tmp」にインストーラーが保存されている場合を例にインストール手順を紹介します。コマンドラインで以下のように入力し、[Enter] キーを押します。

```
#sh /tmp/ インストーラー
```

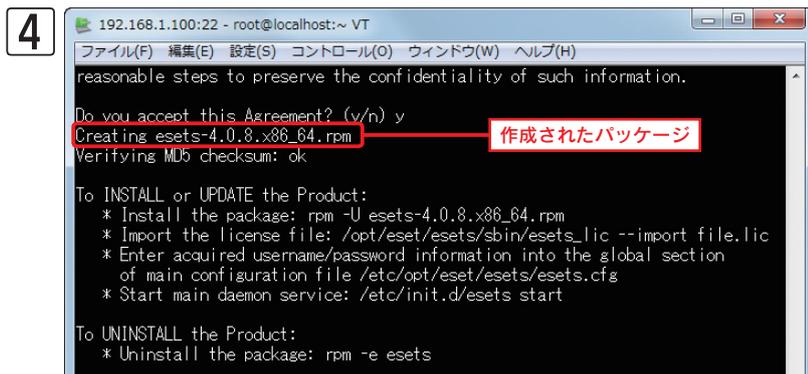
サンプル例

インストーラーのファイル名が、「esets.x86_64.rpm.bin」である場合は、以下のように入力します。

```
#sh /tmp/esets.x86_64.rpm.bin
```

- 2 画面にメッセージが表示されます。[Enter] キーを押すと使用許諾契約書が表示されます。[Enter] キーを押し、使用許諾契約書を読みます。
- 3 画面に以下のように表示されます。[y] キーを押します。

```
Do you accept this Agreement? (y/n)
```



インストールパッケージが作成され、コマンドプロンプトに戻ります。画面には、作成されたインストールパッケージのファイル名とインストール方法などが表示されません。

- 5 インストールを行います。コマンドラインで以下のように入力し、[Enter] キーを押します。これでインストール作業は完了です。

```
#rpm -U インストールパッケージ
```

サンプル例

作成されたインストールパッケージのファイル名が、「esets-4.0.8.x86_64.rpm」である場合は、以下のように入力します。

```
#rpm -U esets-4.0.8.x86_64.rpm
```

POINT

依存性の欠如エラーが発生し、インストールに失敗するときは、エラーの内容を確認し、本製品の利用に必要なパッケージのインストールを行ってから再度インストールを行ってください。

コラム

ESET File Security for Linuxのディレクトリ構成

本製品をインストールすると、以下のディレクトリが作成され各種ファイルが保存されます。

名称	パス	概要
ウイルス定義データベースディレクトリ	/var/opt/eset/esets/lib	このディレクトリには、ウイルス定義データベースなどを含むローダブルモジュールが保存されています。
コンフィグレーションディレクトリ	/etc/opt/eset/esets	このディレクトリには、本製品の設定ファイルが保存されています。
プログラムディレクトリ	/opt/eset/esets/bin	このディレクトリには、本製品のプログラムが保存されています。
システムプログラムディレクトリ	/opt/eset/esets/sbin	このディレクトリには、本製品のシステムプログラムが保存されています。
ライブラリディレクトリ	/opt/eset/esets/lib /opt/eset/esets/lib64	このディレクトリには、本製品のライブラリが保存されています。32bit版の場合は/libのみ、64bit版の場合は/lib、/lib64のディレクトリが両方作成されます。
ERAログデータディレクトリ	/var/log/esets	このディレクトリには、ESET Remote Administratorに送信するログが保存されています。
隔離データディレクトリ	/var/opt/eset/esets/cache/quarantine	このディレクトリには、ウイルスが隔離された場合のデータが保存されています。

3.5

ESET File Security for Linuxのアンインストール

1

2

3.5

ESET File Security for Linuxのアンインストール

4

5

ここでは、ESET File Security for Linuxのアンインストール手順を説明します。アンインストール作業は、コマンドラインで行います。また、root権限（スーパーユーザー）で作業してください。

3.5.1 アンインストール手順

アンインストールは、コマンドラインで以下のように入力し、[Enter] キーを押します。

```
#rpm -e esets
```


[Chapter 4]

クライアント用 プログラムの インストール方法

4.1 ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスの インストール.....	46
4.2 ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスの アンインストール.....	51
4.3 ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X用のインストール	54
4.4 ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X用のアンインストール	59
4.5 ESET Endpoint Security for Android のインストール	61
4.6 ESET Endpoint Security for Android のアンインストール	63

4.1

ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスのインストール

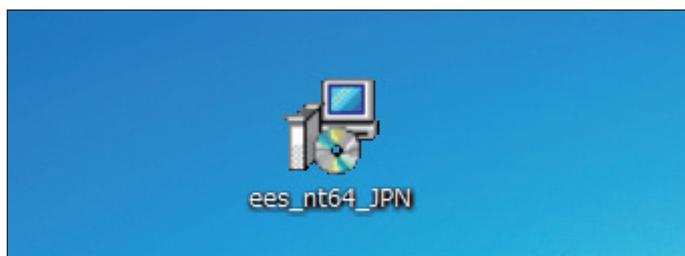
ここではESET Endpoint SecurityおよびESET Endpoint アンチウイルスのインストール方法（インストーラーを利用した手動インストール）を紹介します。

リモートインストールや設定組み込み・読み込みインストールを行う場合は、「ユーザーズガイド 導入・運用編」および「ESET Remote Administrator ユーザーズマニュアル」をご参照ください。

他社製のアンチウイルスソフトまたは、ファイアウォールソフトがインストールされている場合は、必ずあらかじめアンインストールを行ってください。

4.1.1 インストール手順

1



ダウンロードしたインストーラー(.msi)をダブルクリックします。

CAUTION

ESET Endpoint SecurityおよびESET Endpoint アンチウイルスは、サーバー OSにインストールできません。サーバー OSをご使用の場合は、ESET File Security for Microsoft Windows Serverをインストールしてください。具体的な動作環境については、製品ホームページをご参照ください。

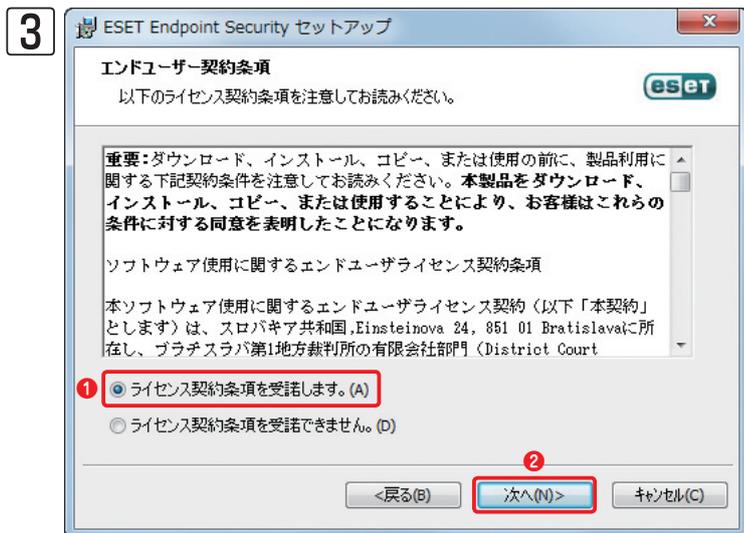
製品ホームページ

<http://canon-its.jp/product/eset/license/>

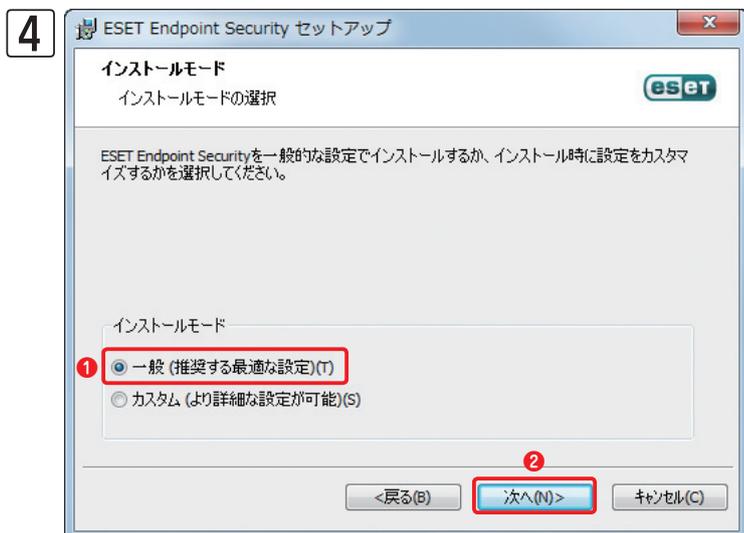
2



インストーラーが起動します。[次へ] ボタンをクリックします。



エンドユーザー契約条項が表示されます。①内容を確認し、「ライセンス契約条項を受諾します」にチェックを入れ、②[次へ] ボタンをクリックします。



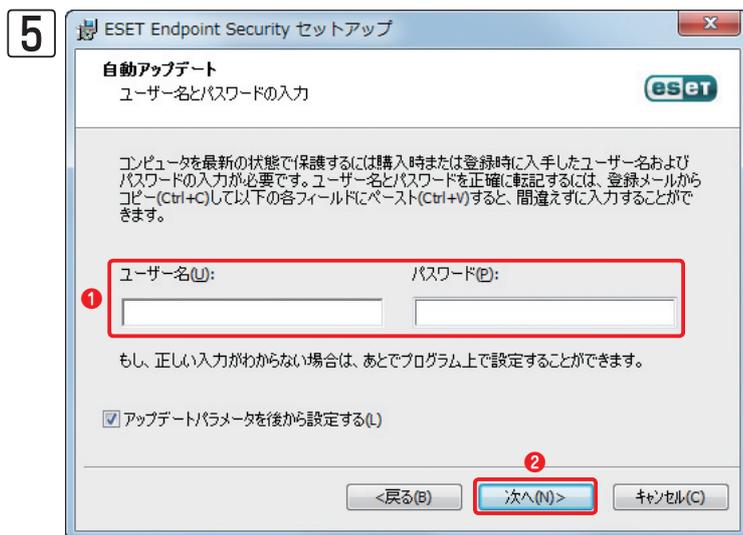
インストールモードを選択します。①[一般] にチェックを入れ、②[次へ] ボタンをクリックします。

POINT

[カスタム] にチェックを入れて[次へ] ボタンをクリックすると、詳細な設定を行うことができます。

また、上書きインストールでESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスのバージョンアップを行うと、手順④で右の画面が表示されます。[現在の設定を使用] にチェックを入れて、[次へ] ボタンをクリックすると、現在利用中の設定が引き継がれます。

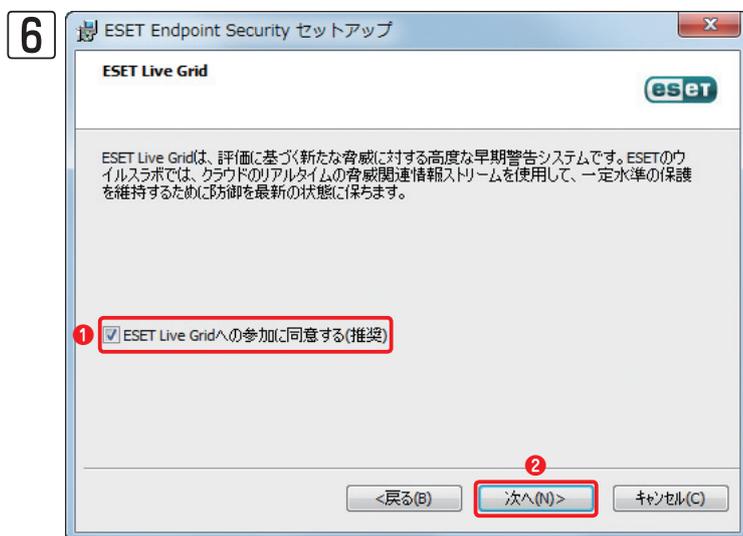




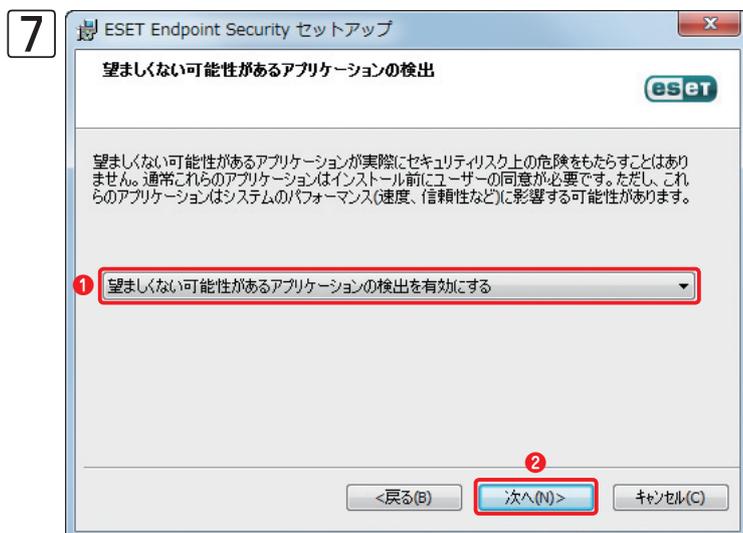
①「ライセンス通知書」に記載の[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、②[次へ]ボタンをクリックします。

POINT

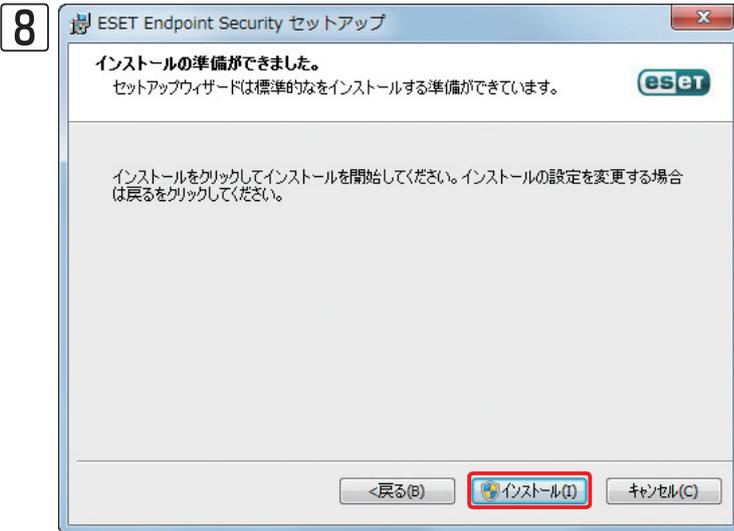
[ユーザー名]と[パスワード]を入力していない場合またはERA(ESET Remote Administrator)をご利用の場合は、[アップデートパラメータを後から設定する]にチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。[ユーザー名]と[パスワード]の設定はインストール後、設定画面から行えます。



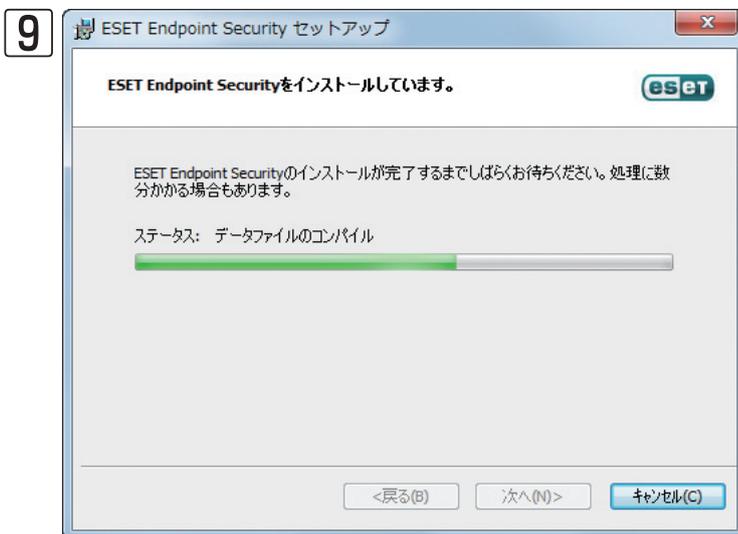
①[ESET Live Gridへの参加に同意する(推奨)]にチェックが入っていることを確認し、②[次へ]ボタンをクリックします。



①ドロップダウンボタンをクリックし「望ましくない可能性があるアプリケーションの検出を有効にする」を選択します。②[次へ]ボタンをクリックします。



以上でインストールの準備が整いました。[インストール] ボタンをクリックします。



インストールが始まります。インストール中は、進捗状況が表示されます。しばらくお待ちください。

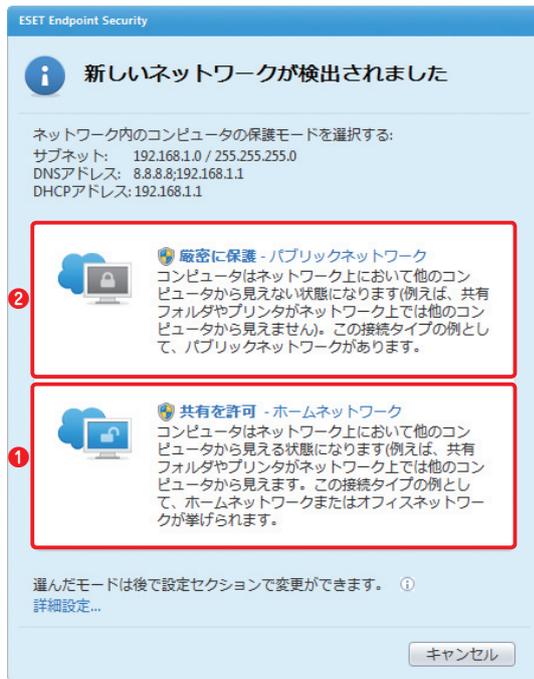
POINT

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「はい」ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了です。[完了] ボタンをクリックします。

11



ESET Endpoint Security をインストールした場合は「ネットワークの検出」画面が表示されます。社内で利用する場合やファイル共有などを行う場合は、**1**「共有を許可」をクリックします。外出先など公共の場所で利用する場合は、**2**「厳密に保護」をクリックします。

POINT

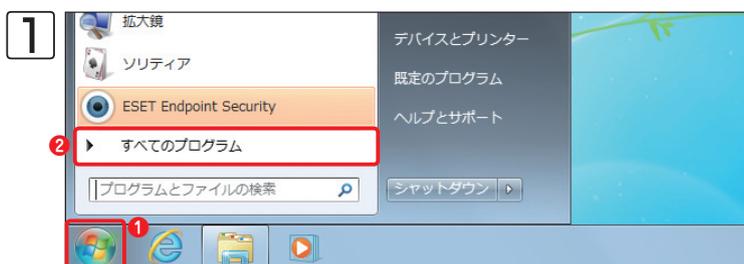
「厳密に保護」をクリックすると、同一ネットワーク上の他のコンピューターから見えなくなり、ファイル共有などが利用できなくなります。社内で利用する場合など、セキュリティが確保されている場所で利用するときは、「共有を許可」をクリックしてください。

4.2

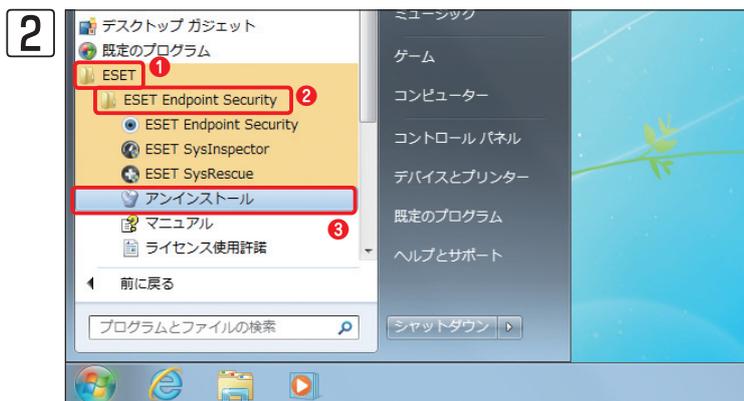
ESET Endpoint Security /
ESET Endpoint アンチウイルス
のアンインストール

ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスのアンインストール方法を説明します。ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルスのアンインストールは、以下の手順で行います。

4.2.1 アンインストール手順



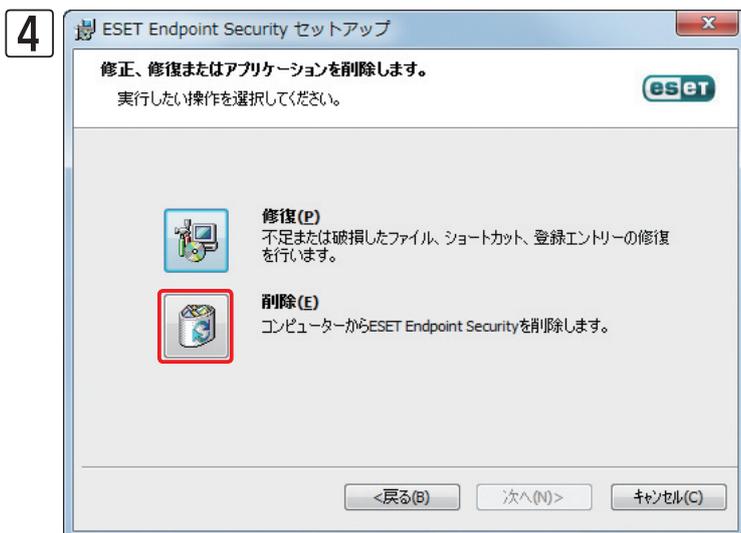
① [スタート]ボタン→② [すべてのプログラム]を選択します。



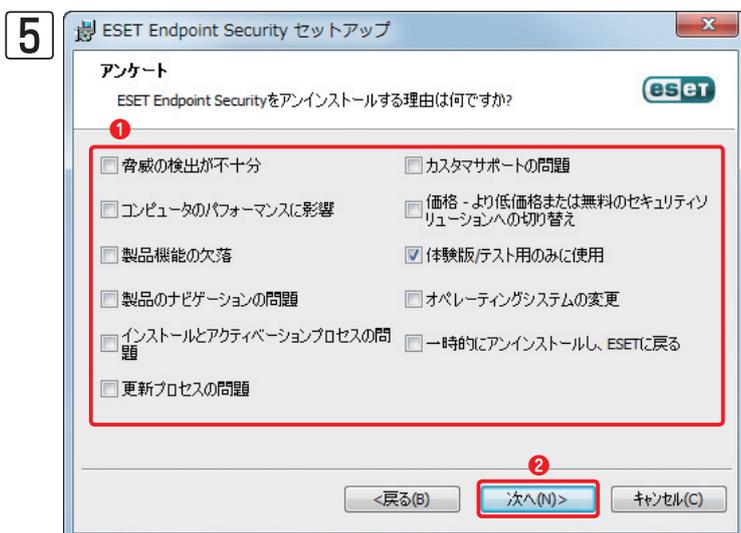
① [ESET]→② [ESET Endpoint Security]または[ESET Endpoint Antivirus]→③ [アンインストール]を選択します。



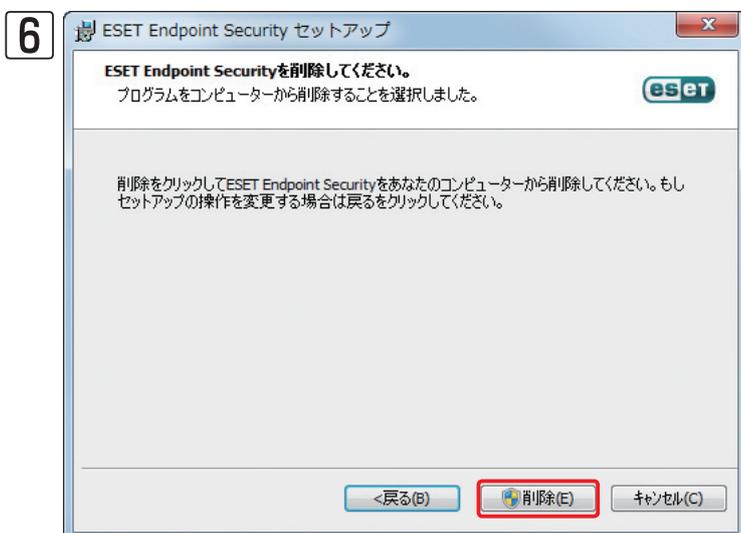
セットアップウィザードが起動します。[次へ]ボタンをクリックします。



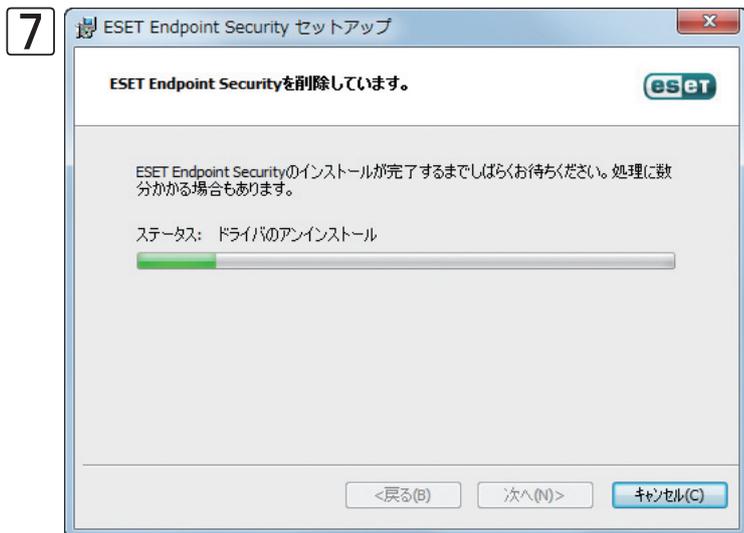
[削除]ボタンをクリックし、画面の指示にしたがってアンインストールを行います。



アンケート画面が表示されます。①アンインストールする理由にチェックを入れ、②[次へ]ボタンをクリックします。



アンインストールの準備が整いました。[削除]ボタンをクリックします。



アンインストールが始まります。アンインストール中は進捗状況が表示されます。しばらくお待ちください。

POINT

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



「ESET Endpoint Security セットアップウィザードが完了しました。」と表示されたら、アンインストールは、完了です。[完了]ボタンをクリックします。



ダイアログが表示されます。[はい] ボタンをクリックするとパソコンが再起動されます。[いいえ] ボタンをクリックしたときは、パソコンを手動で再起動してください。

4.3

ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X用のインストール

ここでは、ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X用プログラムのインストール方法（インストーラーを利用した手動インストール）をMac OS X 10.7を例に説明します。

リモートインストールや設定組み込みインストールを行う場合は、「ユーザーズガイド 導入・運用編」および「ESET Remote Administrator ユーザーズマニュアル」をご参照ください。

他社製のアンチウイルスプログラムまたは、ファイアウォールプログラムがインストールされている場合は、必ずあらかじめアンインストールを行ってください。

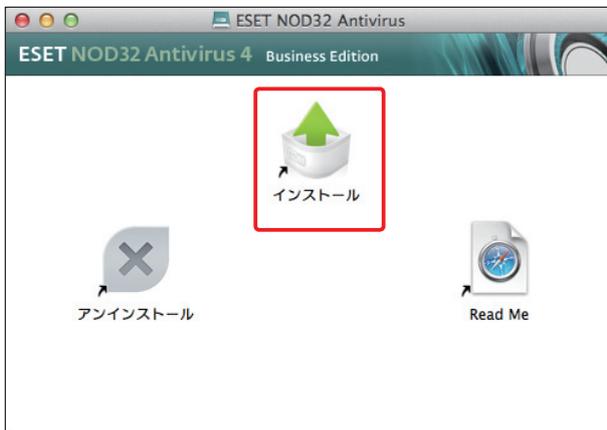
4.3.1 インストール手順

1



ダウンロードしたインストーラー(.dmg)をダブルクリックします。

2



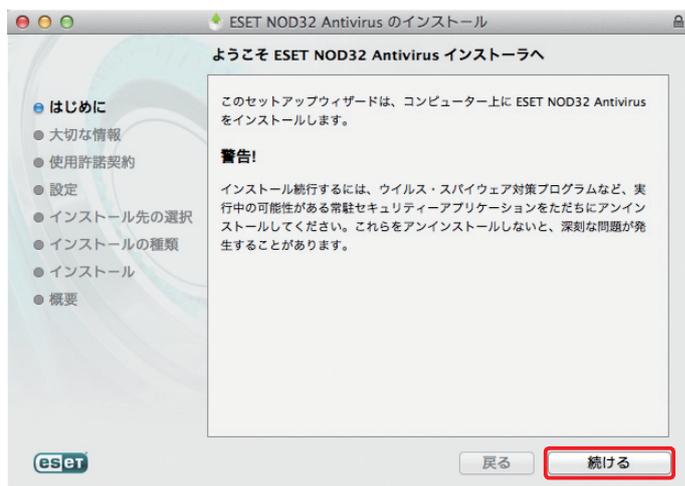
[インストール]をダブルクリックします。

3



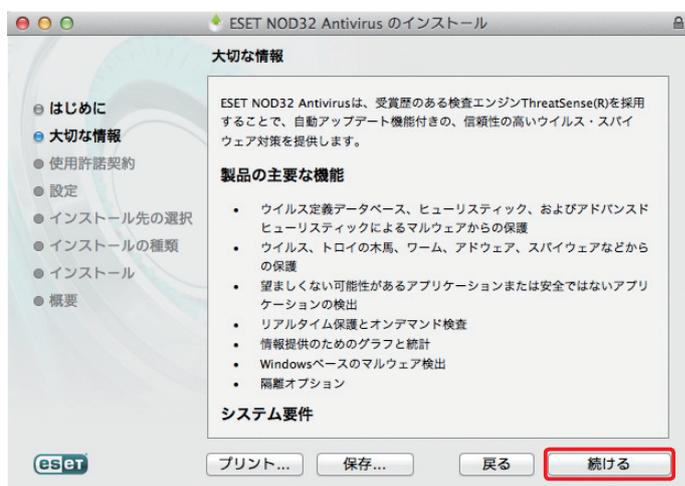
インストーラーが起動します。[続ける] ボタンをクリックします。

4



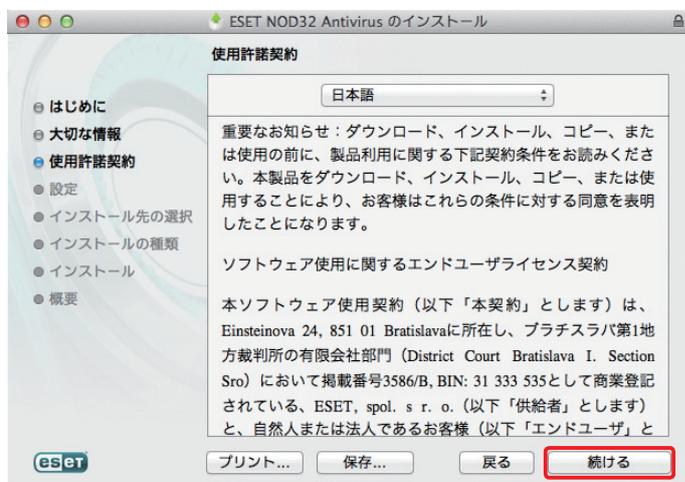
「はじめに」が表示されます。内容を確認し、[続ける]ボタンをクリックします。

5



「大切な情報」が表示されます。内容を確認し、[続ける] ボタンをクリックします。

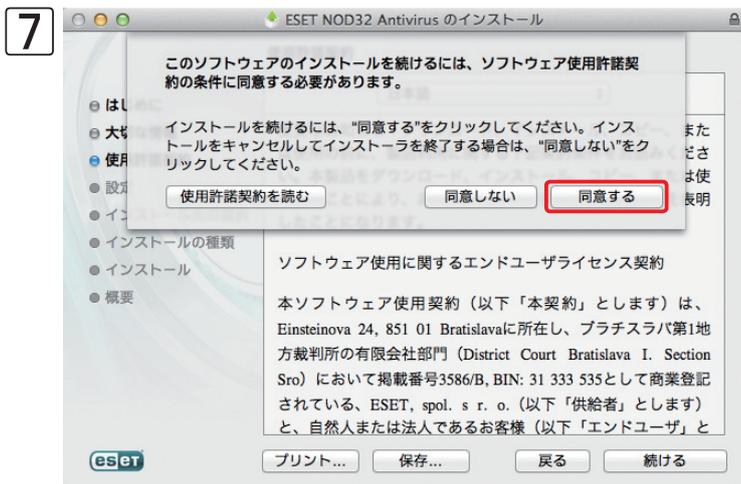
6



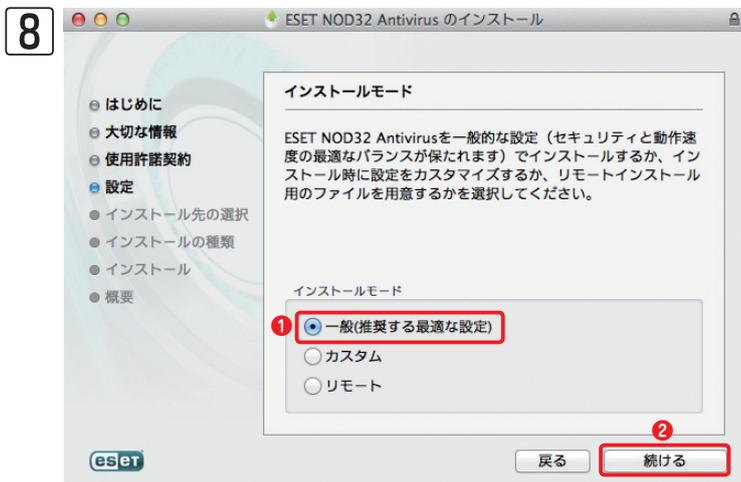
「使用許諾契約」が表示されます。内容を確認し、[続ける]ボタンをクリックします。

4.3

ESET NOD32アンチウイルスMac OS X用のインストール



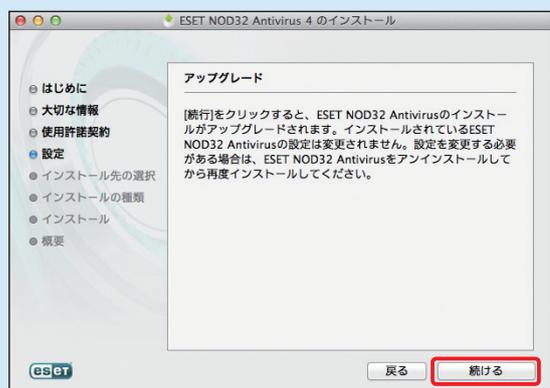
[同意する]ボタンをクリックします。



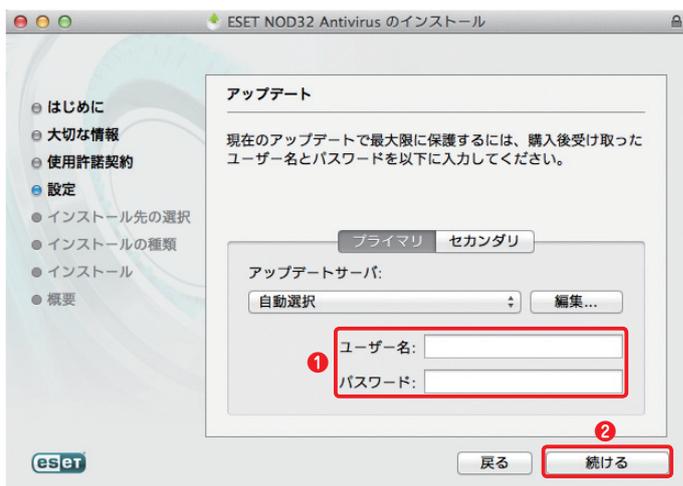
インストールモードを選択します。① [一般] にチェックを入れ、② [続ける]ボタンをクリックします。

POINT

[カスタム] にチェックを入れて[次へ] ボタンをクリックすると、詳細な設定を行うことができます。[リモート] にチェックを入れて[次へ] ボタンをクリックすると、リモートインストール用のインストールパッケージを作成できます。また、上書きインストールでESET NOD32アンチウイルスのバージョンアップを行うと、手順⑧の画面の次に右の画面が表示されます。[続ける] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。



9

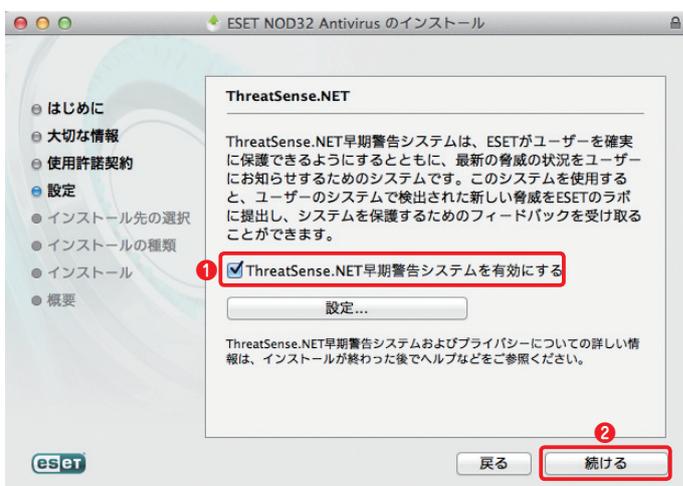


①「ライセンス通知書」に記載の[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、②[続ける]ボタンをクリックします。

POINT

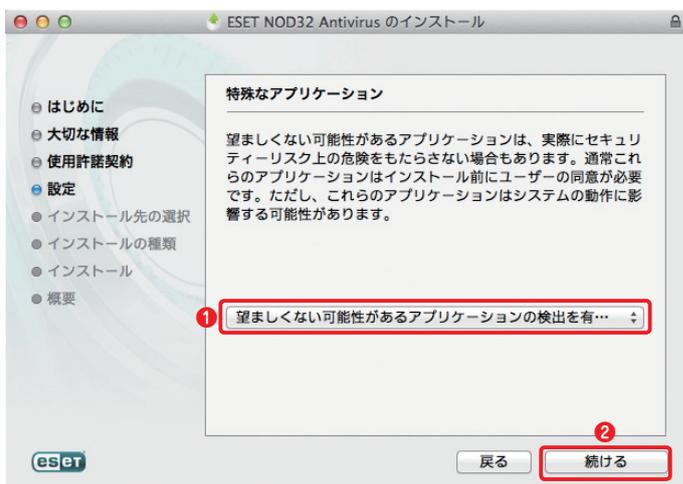
[ユーザー名]と[パスワード]を入手していない場合またはミラーサーバーをご利用の場合は、[ユーザー名]と[パスワード]を空欄のまま[続ける]ボタンをクリックします。[ユーザー名]と[パスワード]の設定はインストール後に詳細設定画面から行えます。

10



① [ThreatSense.Net早期警告システムを有効にする]にチェックが入っていることを確認し、② [続ける]ボタンをクリックします。

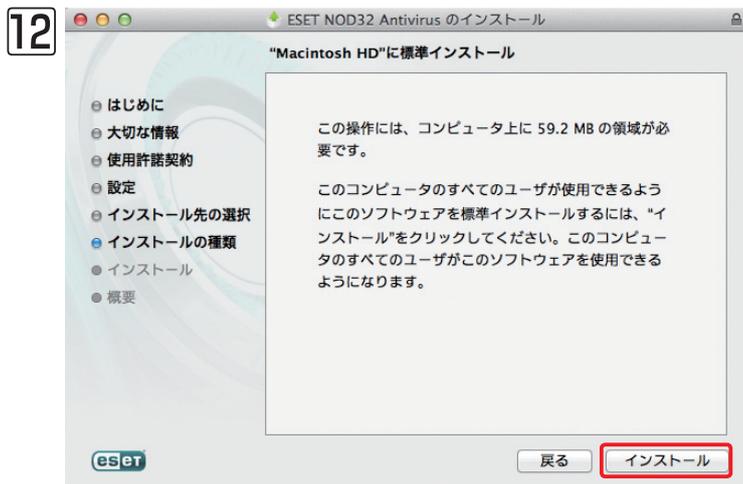
11



特殊なアプリケーションの設定を行います。①プルダウンメニューから[望ましくない可能性があるアプリケーションの検出を有効にする]を選択し、② [続ける]ボタンをクリックします。

4.3

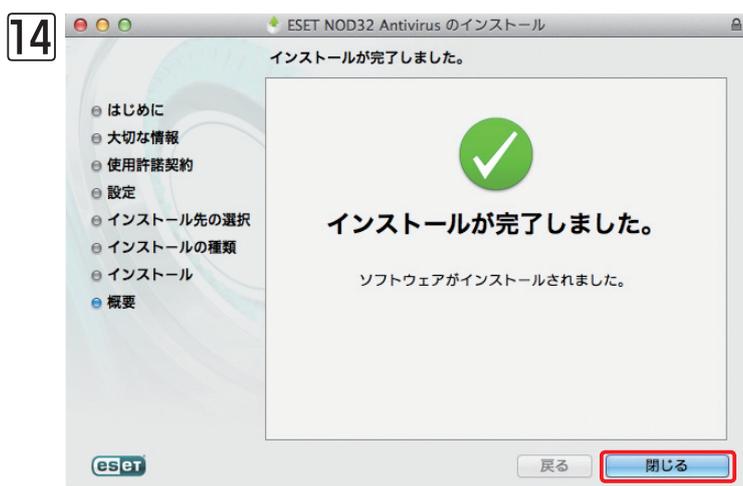
ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X用のインストール



以上でインストールの準備が整いました。[インストール]ボタンをクリックします。



管理者アカウントを入力します。管理者アカウントの① [名前] と [パスワード] を入力し、② [ソフトウェアをインストール] ボタンをクリックします。



インストールが始まり、進捗状況が表示されます。「インストールが完了しました。」と表示されたら、インストールは、終了です。[閉じる] ボタンをクリックします。

4.4

ESET NOD32アンチウイルス
Mac OS X用のアンインストール

1

2

3

4.4

ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X用のアンインストール

5

ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X用プログラムのアンインストール方法を説明します。ESET NOD32アンチウイルス Mac OS X用プログラムのアンインストールは、以下の手順で行います。

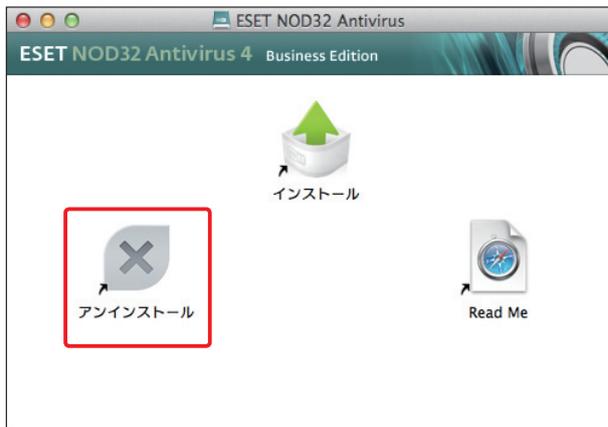
4.4.1 アンインストール手順

1



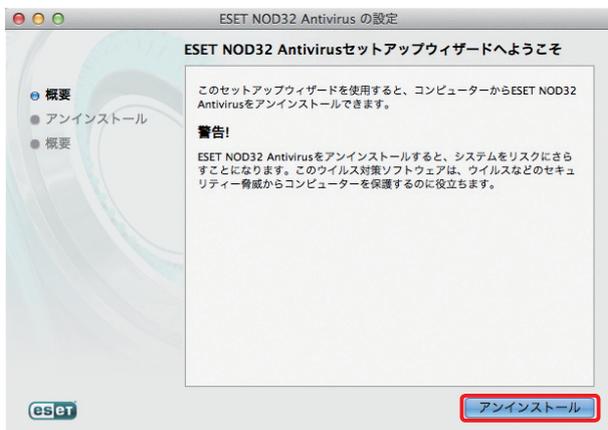
アンインストーラーはインストーラーと同じファイルです。インストール時にダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

2



[アンインストール] アイコンをダブルクリックします。

3



アンインストーラーが起動したら、[アンインストール] ボタンをクリックし、指示にしたがって本プログラムのインストールを行います。



管理者アカウントを入力します。管理者アカウントの① [名前] と [パスワード] を入力し、② [OK] ボタンをクリックします。



「アンインストールが完了しました」と表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。



① [アップルメニュー] をクリックし、② [再起動] をクリックして、OSを再起動します。

4.5

ESET Endpoint Security for Androidのインストール

1

2

3

4.5

ESET Endpoint Security for Androidインストール

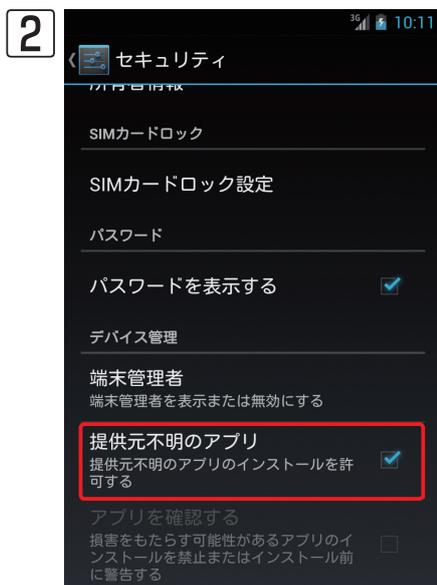
5

ここではESET Endpoint Security for Androidのインストール方法を紹介します。
他社製のアンチウイルスソフトがインストールされている場合は、必ずあらかじめアンインストールを行ってください。

4.5.1 インストール手順



設定画面を起動し、提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する設定を行います。設定画面を起動したら、[アプリケーション]または[セキュリティ]、[その他]などをタップします。



「提供元不明のアプリ」をタップしてチェックを入れます。
※本設定は、「ESET Endpoint Security for Android」のインストール完了後に元に戻してください。

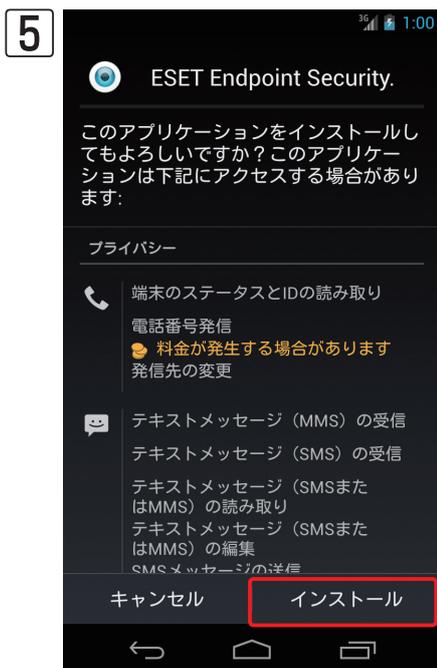
POINT

提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する設定は、ご利用の機種によって設定手順が異なる場合があります。その場合は、ご利用の機種の取扱説明書を参考に設定を行ってください。

3 弊社ユーザーズサイトなどからインストーラー (.apk) をダウンロードします。



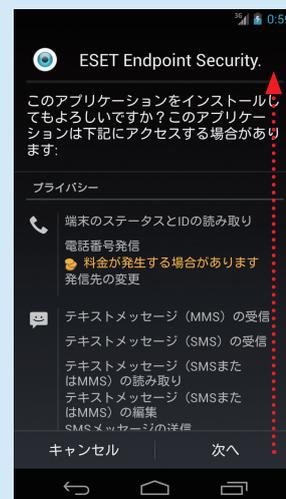
インストーラーのダウンロードが完了したら、① [ステータスバー(通知バー)] を下方向にドラッグして、通知領域を表示します。② ダウンロードしたインストーラー (.apk) をタップします。



[インストール] をタップします。

POINT

画面下に [インストール] ボタンが表示されていないときは、画面を最後までスクロールさせ、説明文をすべて表示すると [インストール] ボタンが表示されます。



[アプリケーションをインストールしました] と表示されたら、本プログラムのインストールは完了です。[完了] をタップします。

POINT

本プログラムを利用するには、アクティベーションを行う必要があります。アクティベーションの手順については、「ESET Endpoint Security for Android ユーザーズマニュアル」をご参照ください。

4.6

ESET Endpoint Security for Androidのアンインストール

ESET Endpoint Security for Androidのアンインストール方法を説明します。ESET Endpoint Security for Androidのアンインストールは、以下の手順で行います。

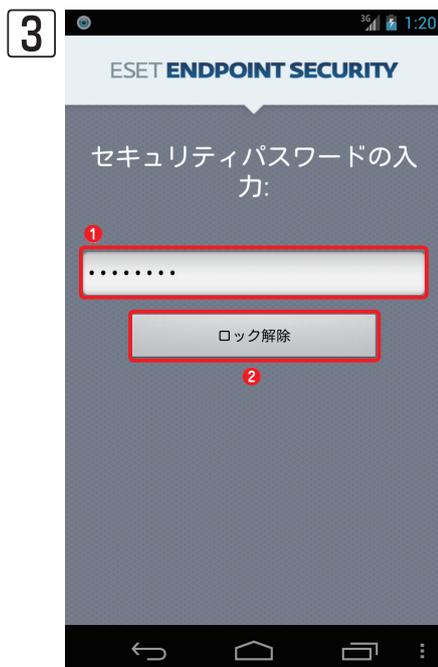
4.6.1 アンインストール手順



ESET Endpoint Security for Androidを起動し、[アンインストール] をタップします。



アンインストール画面が表示されます。[削除] をタップします。



パスワードの設定で「アンインストール防止」を有効にしている場合は① ESET Endpoint Security for Androidのセキュリティパスワードを入力して、② [ロック解除] をタップします。



アンインストール画面に戻ります。[アンインストール] をタップします。



確認画面が表示されます。[OK] をタップするとESET Endpoint Security for Androidがアンインストールされます。

[Chapter 5]

ライセンスキーファイルの 入れ替え方法

5.1	ライセンスキーファイルの入れ替え	66
-----	------------------------	----

5.1

ライセンスキーファイルの入れ替え

ESETセキュリティソフトウェアシリーズライセンス製品は、ライセンスの追加購入や次年度更新に伴って、ライセンスキーファイル(.licファイル)の入れ替えが必要になる場合があります。本節では、ライセンスキーファイルの入れ替えについて説明します。

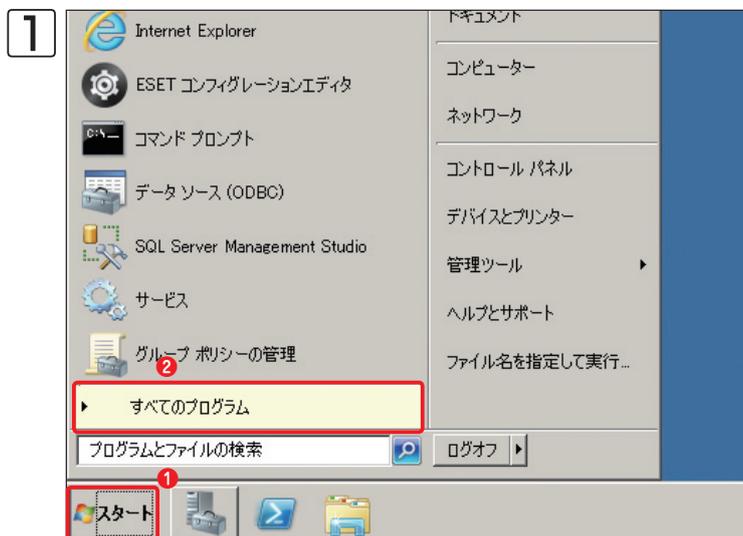
5.1.1 ライセンスキーファイルの入れ替えについて

ライセンスの追加購入や次年度更新に伴うライセンスキーファイル(.licファイル)の入れ替えが必要になるケースは、以下のような場合です。ライセンスの更新に利用する更新ライセンスキーファイルは、弊社ユーザーズサイトで取得できます。更新ライセンスキーファイルの取得方法は、ESETライセンス製品 ご利用の手引をご参照ください。

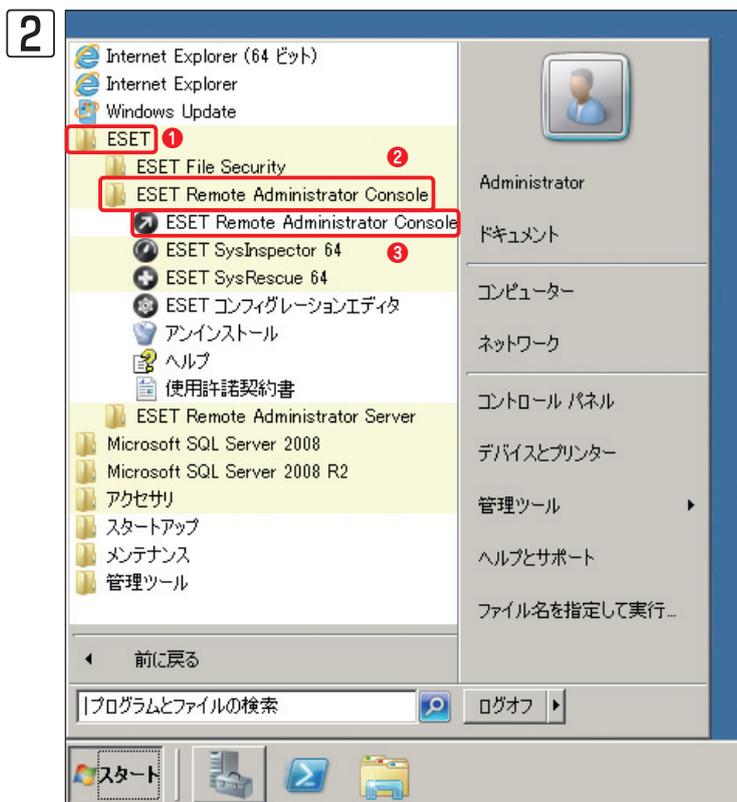
入れ替えが必要なケース	ライセンスキーファイル(.licファイル)の入れ替え方法
ESET Remote Administrator (ERA)を利用している場合	「ESET Remote Administrator Console(ERAC)」を利用して入れ替え作業を行います。
ESET File Security for Microsoft Windows Serverを利用している場合	ミラーサーバーを構築しているESET File Security for Microsoft Windows Serverで、入れ替え作業を行います。
ESET File Security for Linuxを利用している場合	ミラーサーバーを構築しているESET File Security for Linuxで、入れ替え作業を行います。
ESET Endpoint アンチウイルスを使ってミラーサーバーを構築している場合	ミラーサーバーを構築しているESET Endpoint アンチウイルスで、入れ替え作業を行います。

5.1.2 ライセンスキーファイルの入れ替え手順 (ESET Remote Administrator)

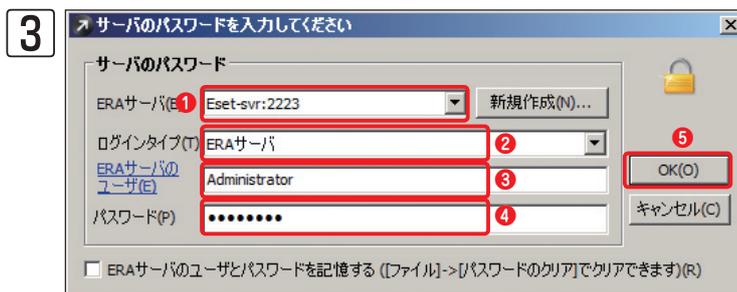
ERACがインストールされたコンピューター上で、以下の操作を行います。



① [スタート] ボタン、② [すべてのプログラム] の順にクリックします。



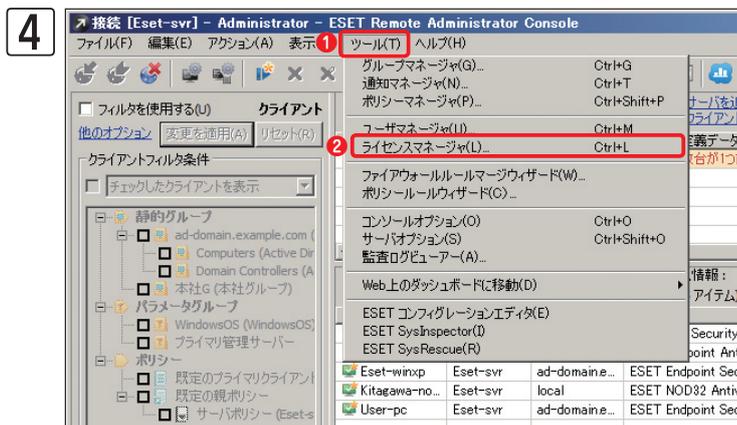
ERACを起動します。①[ESET] → ②[ESET Remote Administrator Console] → ③[ESET Remote Administrator Console] をクリックします。



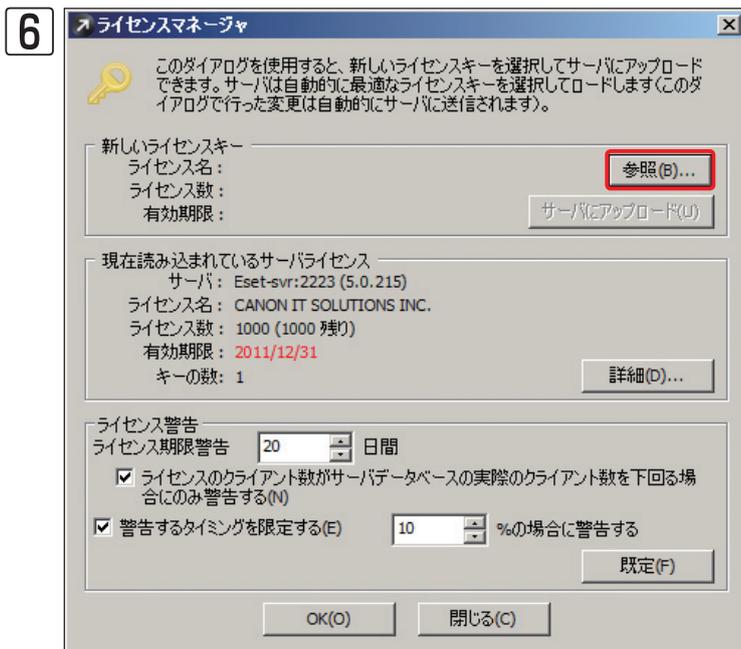
接続先の設定を行います。①接続するERASを設定します。②[ログインタイプ]に[ERAサーバ]を設定します。③[ERAサーバのユーザ]にユーザ名を入力します。パスワードを設定している場合は④[パスワード]を入力し、⑤[OK]ボタンをクリックします。

POINT

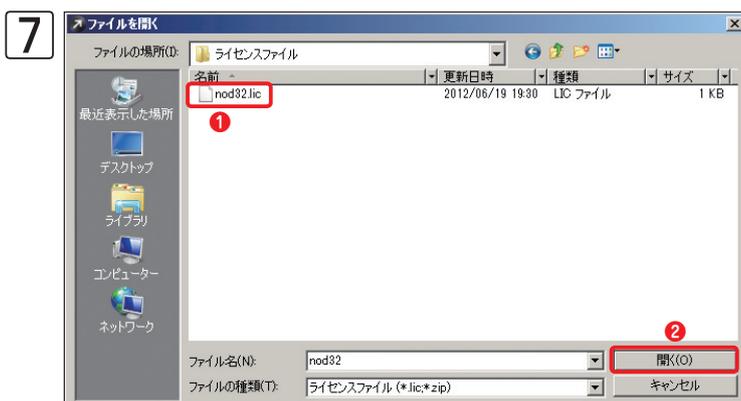
ライセンス期限がすでに終了している場合は、[ライセンス警告]ダイアログが表示されます。[OK]ボタンをクリックすると、[ライセンスマネージャ]ダイアログが表示されるので、手順6以降を参考にライセンスの再登録を行ってください。



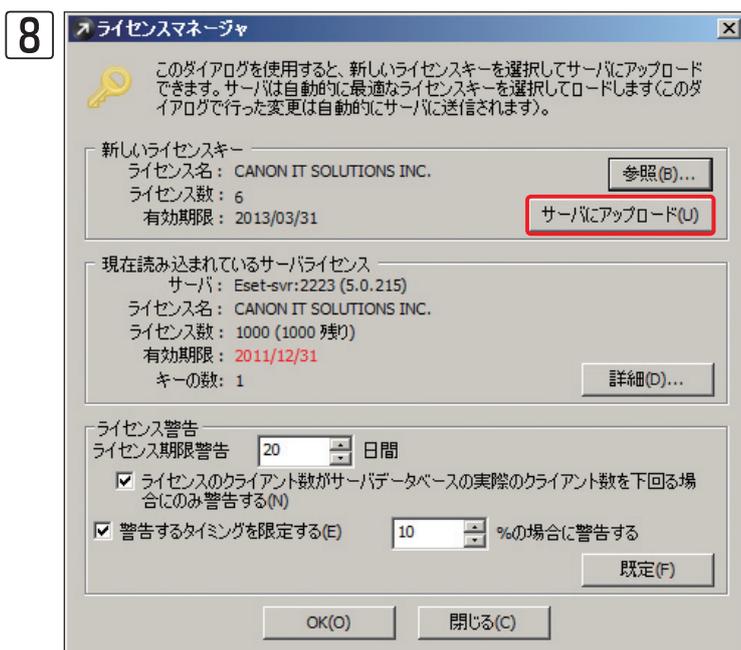
[ライセンスマネージャ]を起動します。①[ツール]メニュー、②[ライセンスマネージャ]をクリックします。



[参照] ボタンをクリックします。



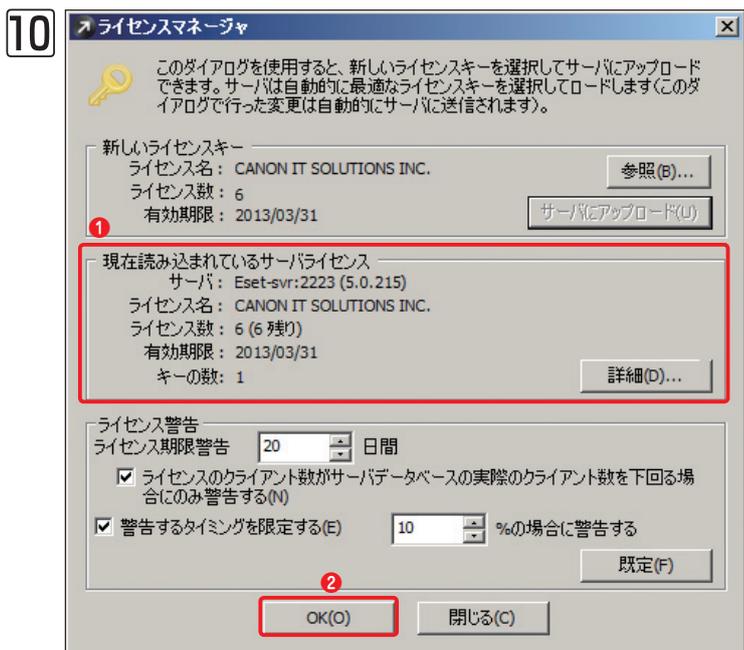
[ファイルを開く] ダイアログが開きます。① ライセンスキーファイル [nod32.lic] を選択し、② [開く] ボタンをクリックします。



[サーバにアップロード] ボタンをクリックします。



ライセンスキーが登録されると、ダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



① [現在読み込まれているサーバライセンス] に、登録したライセンスキーの情報が表示されます。内容を確認し、② [OK] ボタンをクリックします。

5.1

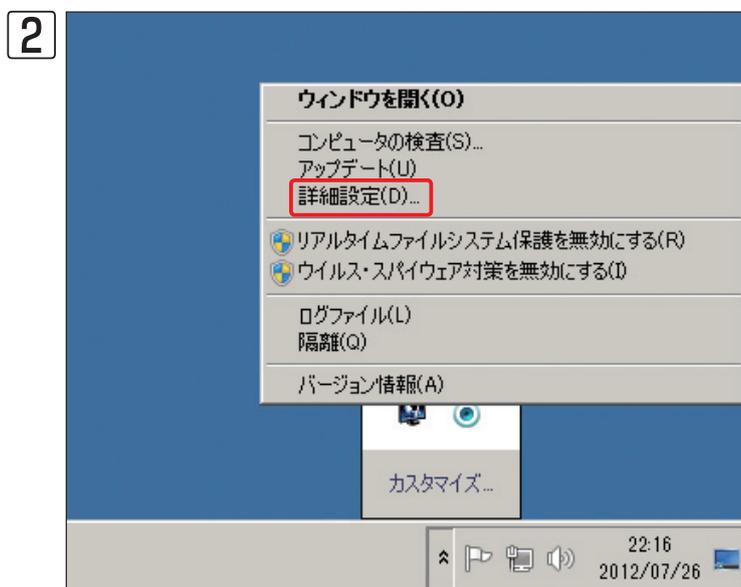
ライセンスキーファイルの入れ替え

5.1.3 ライセンスキーファイルの入れ替え手順 (ESET File Security for Microsoft Windows Server)

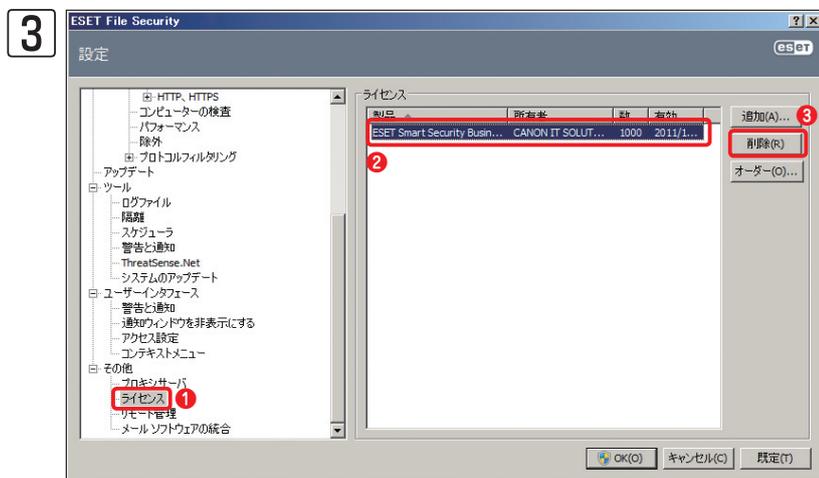
ミラーサーバーを構築しているESET File Security for Microsoft Windows Serverで、以下の操作を行います。



通知領域にある① [ESET NOD32アンチウイルス] アイコンをクリックします。通知領域にアイコンが表示されていない場合は、② [隠れているインジケータを表示します] ボタンをクリックします。

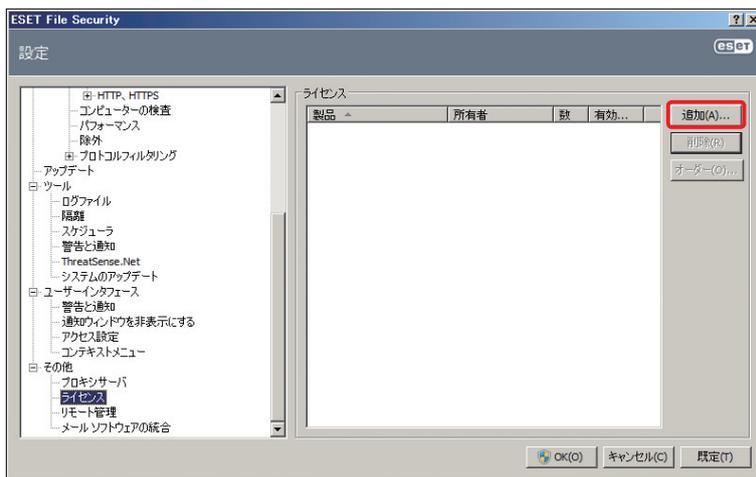


メニューから、[詳細設定] をクリックします。



登録済みのライセンスキーを削除します。[その他] の項目内の① [ライセンス] をクリックし、② 登録済みのライセンスキーをクリックします。③ [削除] ボタンをクリックします。

4



登録済みの古いライセンスキーが削除されます。[追加] ボタンをクリックします。

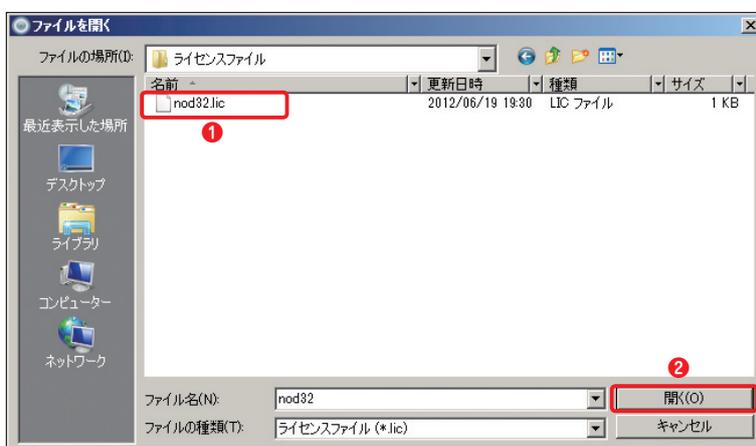
1

2

3

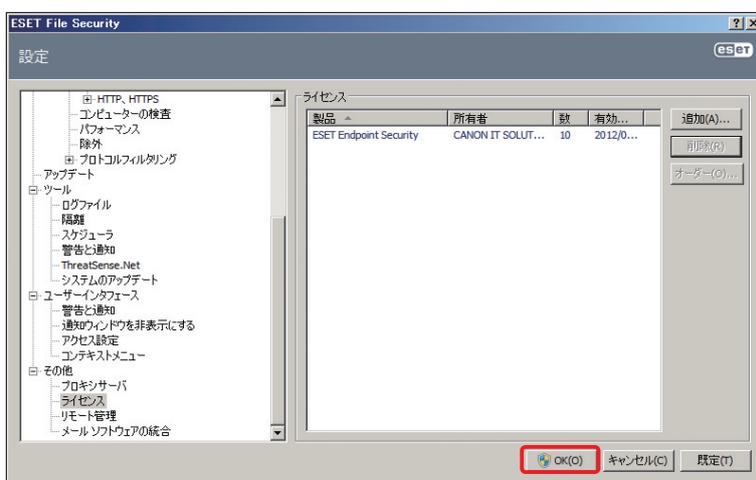
4

5



① 新しいライセンスキーファイルを選択し、② [開く] ボタンをクリックします。

6



新しいライセンスキーが登録されます。[OK] ボタンをクリックします。

5.1.4 ライセンスキーファイルの入れ替え手順 (ESET Endpoint アンチウイルス)

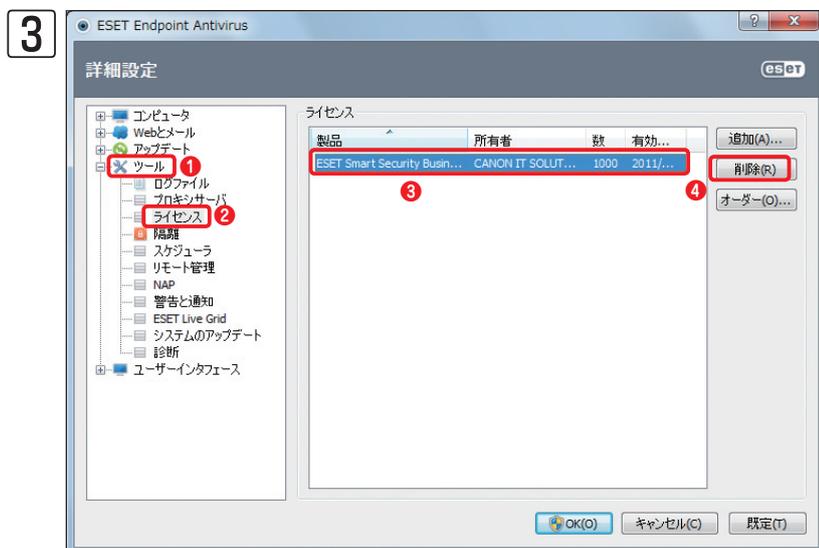
ミラーサーバーを構築しているESET Endpoint アンチウイルスで、以下の操作を行います。



通知領域にある① [ESET Endpoint アンチウイルス] アイコンをクリックします。通知領域にアイコンが表示されていない場合は、② [隠れているインジケータを表示します] ボタンをクリックします。



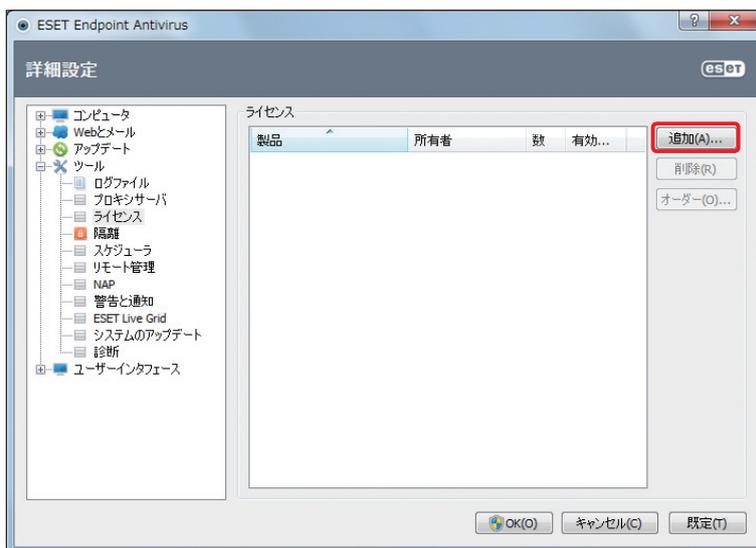
メニューから [詳細設定] をクリックします。



登録済みのライセンスキーを削除します。

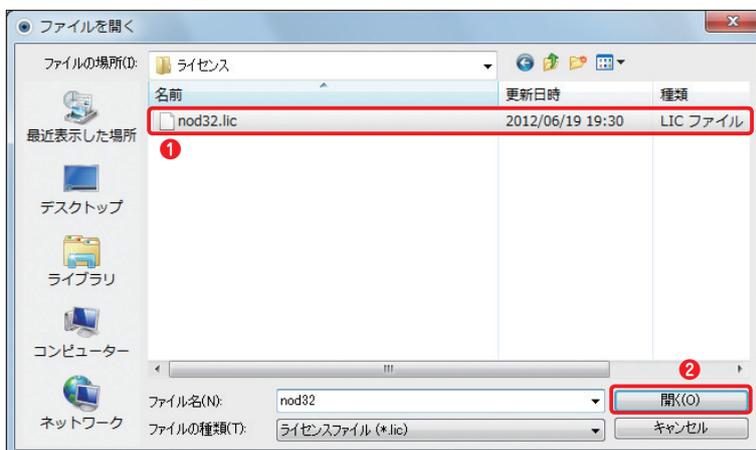
① [ツール] をダブルクリックします。[その他] の項目内の② [ライセンス] をクリックし、③ 登録済みのライセンスキーをクリックします。④ [削除] ボタンをクリックします。

4



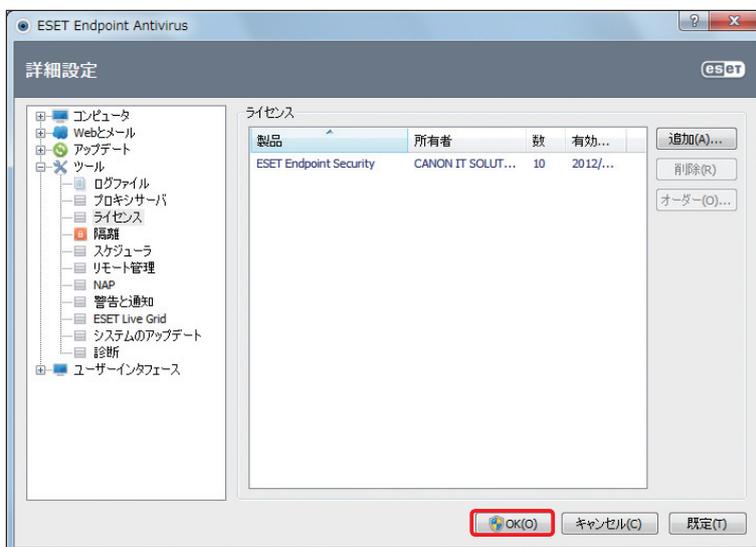
登録済みの古いライセンスキーが削除されます。[追加] ボタンをクリックします。

5



①新しいライセンスキーファイルを選択し、② [開く] ボタンをクリックします。

6

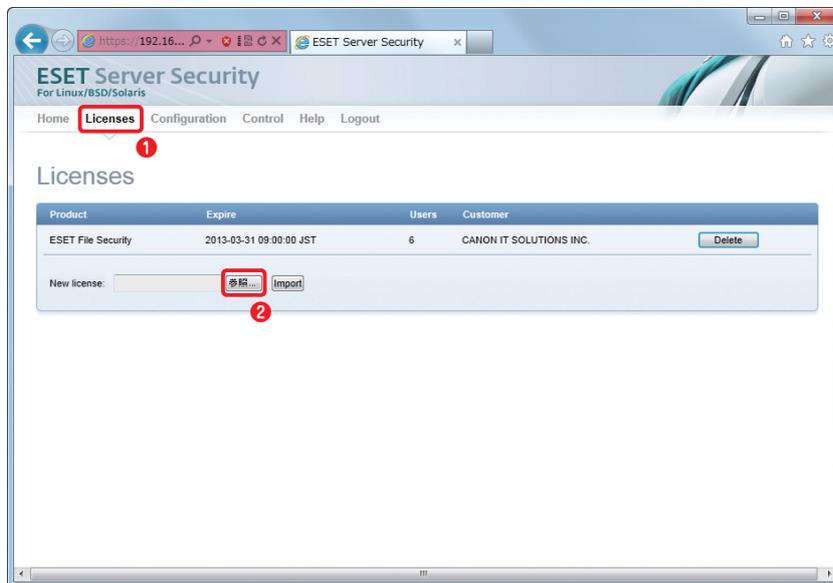


新しいライセンスキーが登録されます。[OK] ボタンをクリックします。

5.1.5 ライセンスキーファイルの入れ替え手順 (ESET File Security for Linux)

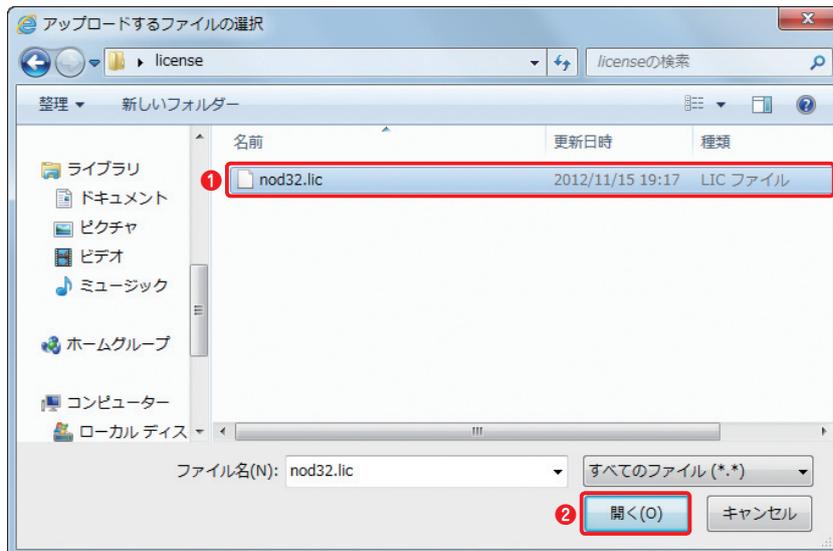
ESET File Security for Linuxで以下の操作を行います。

1



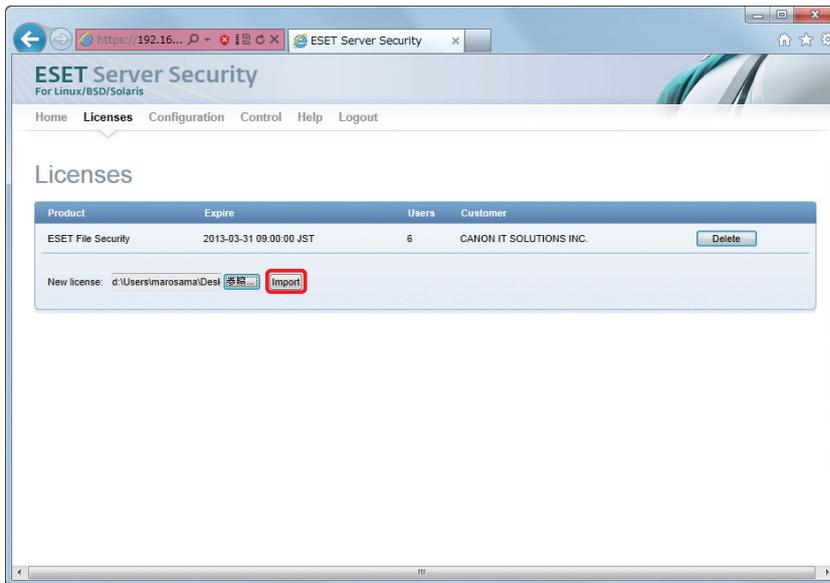
Webブラウザを開き、Webインターフェースのページを開きます。
① [Licenses] をクリックし、② [参照] をクリックします。

2



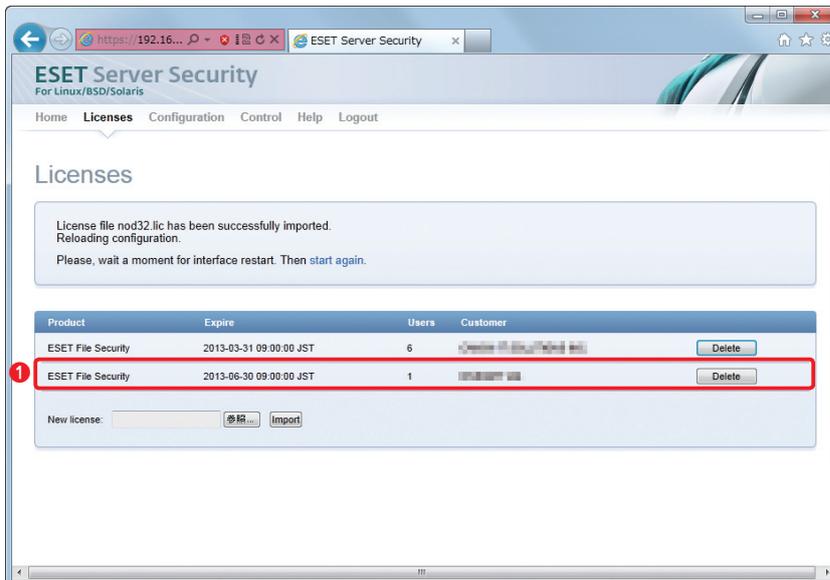
「アップロードするファイルの選択」ダイアログが開きます。①インポートするライセンスキーファイルを選択し、② [開く] ボタンをクリックします。

3



[Import] ボタンをクリックします。

4



① 選択したライセンスキーファイルが登録されます。

5.1
ライセンスキーファイルの入れ替え

POINT

[Delete] ボタンをクリックすると、登録済みのライセンスキーファイルを削除できます。

MEMO